

負け犬だけど生きてていいですか？

◎登場人物

・Side A (Art)

大塚信乃 (おおつか しのは)・・・やりたいことのない美大卒ニート。24歳。  
古屋悌 (ふるや すなお)・・・新進気鋭のマルチアーティスト。30歳。  
朝来野咲智 (あさきの さち)・・・美大生。信乃の後輩。21歳。  
長尾義樹 (ながお よしき)・・・小説家志望のフリーター。信乃とコンビニバイトが同じだったことがある。28歳。

・Side B (Business)

結城成孝 (ゆうき もりたか)・・・中堅服飾メーカーに勤める凡人サラリーマン。28歳。  
市川仁花 (いちかわ にいか)・・・成孝の後輩。24歳。  
豊島忠治 (とよしま ちゅうじ)・・・成孝の同期。若手の出世頭。義樹の大学の同級生28歳。  
赤岩礼実 (あかいわ れみ)・・・元カリスマギャルモデルで数々の商品プロジェクトを手掛ける。忠治の営業先。28歳。

・Side C (Champion)

椿忍葉 (つばき しのは)・・・アートとビジネスを繋ぐベンチャー企業「チャンプルー」の代表。34歳。  
扇谷畏斎 (おうぎや いさい)・・・忍葉に心酔する「チャンプルー」のメンバー。28歳。

舞台上手奥には、「友情」の文字、中央奥には「努力」、下手奥には、「勝利」の文字が大きく吊るされている。

「友情」の文字の周りには、「愛情」「信頼」「尊敬」の文字が、「努力」の文字の周りには、「個性」「才能」「勤勉」の文字が、「勝利」の文字の周りには、「成功」「荣誉」「開花」の文字が、それぞれメインの文字よりも小さめに吊るされている。

それぞれの文字は高さ2 m程の位置に配置され、登場人物は全員、文字に手が届く。

「友情」「努力」「勝利」の文字の傍には白いボックスが2つずつ配置されている。

## Opening

【照明…ブルー】

【音響…流行の青春映画の男女のワンシーンから。上演当時は「天気の子」から】

幕が上がりと始めると信乃と戌孝による映画のワンシーンの再現が始まる。信乃はメイクもそこそこの冴えない服装。

戌孝と信乃以外の登場人物はシーンを象徴する小道具（小道具Aとする）を持って2人の外側を回る。

【照明…ブルー＋転がしフラッシュ】

【音響…♪～サビ終わり（シーン終わり）】  
中央のボックスを持ち上げ、叩きつけて左記のツツコミを入れた後、後、信乃は上手方向に、戌孝は下手方向にボックスを持って向かっていく。

小道具Aたち、ツツコミと共に静止。

信乃・戌孝 言わねえよ！【照明…レッド】僕らの声、俺（私）には、1言も行けなんて言ってくれないわ！ どこにも行けないわ！（映画のワンシーン 関する自虐的なツツコミ。）

【照明…地明かり】

小道具Aたち、去る。

上手側には、信乃、咲智と義樹が残り、

下手側には、戌孝、仁花、忠治が残る。

居酒屋。

信乃、戌孝、ツツコミの勢いのまま、友人に向かって喚き続ける。

信乃 わかっている。うん。わかっている。私だってそんな風にキラキラ生きてみたくないわけでもない。でもさあ、絶対的に足りないじゃん？ 何がって、そりやまあ色々さ、色々。全部って言うてもいい。キラキラ要素ゼロ過ぎない私？ そりやそうですよ！ だってニートですよん！ ニート！ どの世界にキラキラしたニートがいるわけ？ いないわ！ 現実が大嫌いだから！ 現実に住めないからニートやってるってのにさあ！ そもそもさあ、結局私なんて、どうせ何の物語の主人公でもないし、何の才能もないし、何にもやりたいことなんてないわけ。そんな人間はどうやって生きればいいんですか？ はいはい、そんな人間は死ねるか？ 自殺でもしろってか？ してるわ！ できることならしてるわ！ 偉いと思いますよ！ ええ、はい。自殺できるだけすごいと思いますよみなさん！ だって怖いもん！ やだもん！ あと、少しだけ期待してるからね！ そうはいつでも！ 私にだって何かしらの芸術的才能があるんじゃないかって！ 少しは期待しちゃってるからね！ そりや、私だって一応頑張ってる美大には受かっているわけですから！ 何かしら？ こう、他人より抜きん出てる部分があるんじゃないかって思っちゃってますからね！ 期待しちゃったら、もう死ねませんよ！ かっていって、その世界で勝負にいける程には、自分になんか期待できてませんからね！ 結局できることは現実逃避ですよ！ あー、もー！ 『負け犬だけど生きていいですか？』

戌孝 (信乃と同時に) そんな青春は俺にはゼロです。ゼロ！ そもそも高校男子校だしね！ 女子との接点皆無ですからね！ いや、いたよ！ 男子校にもさあ、なんか彼女とかつくってるやつ。どこで出会ったの知らないけれど！ でも俺はさあ、わかる？ そういう種族じゃないわけ！ そう、種族が違うわけよ。そいつがエルフなら俺はゴブリンなわけ！ ゴブリン生まれゴブリン育ち！ 気持ち悪い奴は大体友達なわけ！ (信乃と揃えて) そもそもさあ、結局俺なんて、どうせ何の物語の主人公でもないし、何の才能

もないし、何にもやりたいことなんてないわけ。そんな人間はどうやって生きればいいんですか？ 忠治はいいよなあ、かわいい奥さんもいてさあ、子供も生まれてさあ、かわいい女の子だしさあ、営業成績も第一営業部でトップだし、すげえ、楽しそうに働いてるし！ 将来有望だし！ 社を背負って立つ人間だし！ 役員候補だし！ そんな中俺は、運よく就職はできたってぐらいの感じだからね！ 営業成績も中の下、出世も見込めなければ、恋愛も上手くいってない！ つーかそもそも仕事してて楽しいって思ったことが一度もない！ これ大事！ 俺は楽しくないわけ！ 生きてて！ 生きてて楽しくないんだよ！ 人と比べるなとか、自分を認めろとかってよくいうけどさあ？ 無理ですよ！ だって、俺は俺が嫌い？ 俺の人生は楽しくなくて、でも俺は、世の中見下して生きてますから？ そうやって自分慰めますから？ ある種の現実逃避ですから！ （信乃と揃えて）あー、もー！ 『負け犬だけど生きてていいですか？』

【音響…ヘビメタ系 C・I】

【照明…3色チェイス＋転がしフラッシュ】

信乃、戌孝、倒れそうになるのを、それぞれ義樹、忠治が支え、肩を貸す。

上下から布を持って錯綜する人々。（ボックスの配置を元に戻した上で、上手のボックスを1つ中央に持っていく。）

咲智、仁花、忠治去る。

義樹、信乃に肩を貸しながら舞台上を歩き回る。  
布を持った人々、去る。

【音響…ヘビメタ系 F・O】

○ S i d e 『 A 』 A c t . 1 s c e n e . 1

【照明…夜】

人気のない路上。  
信乃、嘔吐する。

義樹 大丈夫かよ。

信乃 大丈夫に見えますか？

義樹 いや。

信乃 嫌いなんですよ。

義樹 え？

信乃 「大丈夫？」って聞く人。

義樹 ああ、ごめん。

信乃 大丈夫じゃない場合、「あなたに何かできるんですか？」ってことですよ。

何もできないのわかってるから、こっちは気を使って「大丈夫です。」って言うしかないんだから。

義樹 お前「大丈夫です。」なんて言わなかったけどな。

信乃 長尾さんには気を使ってないからですよ。

義樹 あのなー、ちよつとは強い使えよ！ 元とはいえコンビニバイトの先輩だぞ！ しかもその先輩が介抱してやってんだから、普通多少なりとも気を使うだろ。

信乃 きも。

義樹 え？

信乃 長尾さん、私ぐらいしか触れる女いないから、だから私に優しくしてくれてるってだけじゃないですか？

義樹 は？

信乃 まあ、その顔じゃあねー。

義樹 大塚お前いくら酔ってるとはいえそれはひどいぞ。

信乃 きも。

義樹 お前なあ！

信乃 きも、ち悪いです。お水が欲しいです。

義樹 ……ちよつとそこらで、買ってくるよ。

信乃 ありがとうございます。

義樹 その礼の言葉は出てくるのな。

義樹、去る。

○Side 『A』 Act. 1 scene. 2

信乃、吐き気を抑えようとのたうちまわる。

【音響…ジンギスカン F・I】

【照明…夜+転がしフラッシュ】

信乃 何？

忍葉、畏斎、踊りながら入ってくる。

畏斎は身体を露出した民族衣装のような服装で冠を被り、メインで踊る。

忍葉は白装束で、畏斎のおつきのような感じで、後ろで合わせる。

忍葉はラジカセとペットボトルを持っている。

踊りながら、信乃の前を通り過ぎていく2人。

【音響…ジンギスカン F・O】

【照明…夜】

信乃 何今の……。こわっ。

【音響…ジンギスカン F・I】

【照明…夜+転がしフラッシュ】

忍葉、畏斎、踊りながら戻ってくる。

信乃 うわうわうわうわ、戻ってきた。何何何！

忍葉、畏斎、踊りながら信乃に迫っていく。

信乃 え、うわうわうわうわ、私？ 私に向かってきてる？

忍葉、畏斎、踊りながら信乃の前で止まる。

忍葉、ラジカセを止める。

【音響…ジンギスカン C・O】

忍葉 大丈夫ですか？

信乃 え？

忍葉 お辛そうだったので。夜道に酔っ払った女の子一人は危ないですよ。大丈夫ですか？

信乃 あ、ああ、はい。あ、「大丈夫です。」

忍葉 気を使わなくていいですよ。どうぞ、これ、飲んでください。

信乃 いいんですか？

忍葉 構いませんよ。はい。(ペットボトルを信乃に渡す。)

信乃 ……ありがとうございます。(ペットボトルの水を飲む。)

畏齋 忍葉さん、優しい！

忍葉 近江屋、代わりの水。

畏齋 忍葉さん、僕、扇谷です！ 近江屋だと、坂本龍馬と中岡慎太郎が殺された場所になっちゃいますよ！

忍葉 水。

畏齋 あ、はい。すいません。(鞆から水を出して、忍葉に渡す。)

信乃 そういう上下関係なんだ……。

忍葉 え？

信乃 あ、いや、あの、お水代。お支払いします。(財布を出そうとする。)

忍葉 ツイッターの創業者ジャック・ドーシーは言いました。「我々は、何も持たざる者を支援する立場に立つ。」と。これは、「支援」ですのでお金は結構です。

信乃 支援？

忍葉 もうこの時間では電車もないでしょう。向こうに我々の車を止めてありますので、家までお送りしましょう。

信乃 え、いや、私。

忍葉 大戸屋、車。

畏齋 忍葉さん、僕、扇谷です！ 大戸屋だと「素材と店内調理にこだわる『そうそう、これこれ』って、思わず嬉しくなる味。家庭の食卓にある献立をイメージした、そんな毎日食べたくなる、くらしの基本になるごはん」を丁寧につくっている定食屋になっちゃいますよ！



忍葉 車。

畏齋 あ、はい。すいません。

畏齋、走って去る。

忍葉 アップルの創設者スティーブ・ジョブズは言いました。「クレイジーな人達をたたえよう。はみ出しもの、反逆者、トラブルメイカー、彼らは四角い穴に丸い杭を打ち込む。彼らを見捨てることはできない。なぜなら彼らは物事を変えたからだ。彼らは人間を前進させた。彼らはクレイジーと言われるが私達は天才だと思う。」

信乃 はあ。

忍葉 実は、居酒屋でのあなたの話、聞こえてしまっていたのです。

信乃 え？ 嘘。あそこにいたんですか？ いや、あれは……。

忍葉 私はあなたを天才だと思いますよ。

信乃 いや、あの。

忍葉 迷子の迷子の子猫ちゃん、あなたのお家はどこですか？ お家までお送りする間、少しお話をさせてください。

信乃 あの、ですから、えーと。

忍葉 (信乃をやや無理やり連れて行きながら)フェイスブックの創設者マーク・ザッカーバーグは言いました。「問題なのは『私たちが彼らについて何を知りたいか』では無い。『彼ら自身が自分の事をどう語りたいか』だ。」と。

信乃 あの、だから、ああ。もう。

信乃、忍葉、去る。

○Side『A』Act. 2 scene. 1

去ると同時に、信乃、反転し、義樹、咲智と共に入ってくる。

【照明・地明かり】

喫茶店。

咲智 それでついて行っちゃったんですかー？

信乃 まあ。

義樹 ほんとひどいよな。俺が水買って戻ってきたら、もういないの。次の日まで連絡もつかないし！ マジで心配したんだから。

信乃 だからそれは謝ってるじゃないですか。だからこうしてコーヒーくらい奢りますよってしてるんですから。

信乃、中央のボックスに2人を座らせる。

義樹 奢りますよって言ったって。

咲智 ここ信乃先輩のうちじゃないですか。

信乃 ニートが外の喫茶店で奢れるわけじゃないでしょ。頭を使いましょう。

咲智 いや、堂々とされましても。

義樹 よく親もこんなこと許すもんだ。

信乃 許すどころか、喜んでましたよ。「信乃が外からお友達つれてきたー！サービスしなくちゃー！」って。

義樹 小学生の親かよ！

信乃 ま、だから駄目なんですよ。私なんかさっさと追い出しちゃえばいいのに。1人娘だから未だにかわいくてしょうがないんですよ。

咲智 そんなに悪く言わなくても。

信乃 だって自分が親ならこんなニート娘に育ったら、絶対勘当するもん。どうしてこんな風に育ってしまったんだって後悔するね！ 結局親が甘いから

ニートが生まれんのよ。

咲智 それをニート側が言っちゃうんですね。

義樹 まあまあ、とにかくこの間は無事でよかったっちゃあ、よかったけど。

信乃 無事どころかなんかすごい、いい人たちでしたよ。ベンチャー企業の社長さんだって。

信乃、名刺を2枚置く。

義樹 株式会社チャンプルー代表、椿忍葉。

咲智 占星術顧問、扇谷畏斎。

義樹 怪しくないか？

信乃 さあ？ でも、商売はちゃんとしてるっぽかったですよ。アートとビジネスを繋ぐお仕事ですって。

義樹 マネジメント系の会社なのか？

信乃 そんな感じでしたね。

咲智 占星術ってアートなんですか？

信乃 すごく幅広いんじゃない？ アートの意味が。

咲智 はあ。

義樹 占星術ねえ。

信乃 じゃあコーヒー淹れてきますから。

義樹 ああ。

咲智 お願いします。

信乃、去る。

○Side 『A』 Act. 2 scene. 2

義樹 こないだは本当に酷かったよなあいつ。

咲智 信乃先輩もたまってたんだと思いますよ。

義樹 えーっと、あの、(咲智の名前を言おうとして)、あー。あれ？ 大塚の……。

咲智 あ、朝来野咲智です。

義樹 あー、ごめんごめん。あの時は大塚が序盤からフルスロットルだったもんだから。そうだそうだ大分らへんの珍しい苗字だ。

咲智 そうですそうです。あの時は全然お話できてませんもんね。

義樹 そうそう。俺が言った時には既にさ。

咲智 私も会うの久しぶりだったんですけど、びっくりしました。

義樹 久しぶりだったんだ。

咲智 信乃先輩、美大の同じ学科の先輩だったんですけど、

義樹 何学科だったの？

咲智 先端芸術表現科って言って。

義樹 それは何を作るところ？

咲智 なんでもいいんです。

義樹 ほか。

咲智 絵でも彫刻でも映像でも写真でも、表現ならなんでも。

義樹 そりゃ逆に難しそうだね。

咲智 結局何やればいいかわかんないみたいな人は結構いますね。

義樹 へえ。

咲智 で、私、信乃先輩と一緒に作品つくったことがあります。

義樹 へえ、どんな作品？

咲智 信乃先輩ってああ見えて詩とか書いたりしてて。

義樹 そうなんだ。

咲智 その詩を私が、どう表現するかみたいなの。その時は、部屋に色々装飾して、こう文字を天井から吊るしたりしたんです。

義樹 面白そうだね。

咲智 ですよ？ だからその第2弾をやらうと思って、久しぶりに先輩に連絡したんですけど。

義樹 ニートになっていたと。

咲智 はい。もう詩も書いてないって言われて……。

義樹 俺、書いてみよっかなー。

咲智 え？

義樹 実は俺、小説家志望なんだよ。

咲智 そうなんですか？

義樹 小説の一節を吊るすとかでもアリだったりしない？

咲智 あ、はい。なしでは、ないです。

義樹 じゃあ考えといてよ。

咲智 そうですね。考えておきます。

義樹 大塚と仲良くなったのも、バイトでたまたま好きな小説家と一緒にさ。

咲智 え？ 誰ですか？

信乃、コーヒーを持って入ってくる。

信乃 青森ユイ。

義樹 そうそう、青森ユイ！

咲智 青森ユイ？

義樹 知らない？ 苗木賞受賞の！

咲智 苗木賞受賞……。

信乃 年齢詐称がバレた。

咲智 ああ！

義樹 やっぱり、そのイメージが強いのか。

咲智 どうしても悪いイメージの方が頭に残りやすいと言いますか。

信乃 やめた方がいいよ。

咲智 え？ 悪いイメージを残すのですか？

信乃 違う違う。長尾さんの小説を作品にするの。

咲智 え？

義樹 なんでだよ！ 悪くないアイデアだろ？

信乃 この人、才能ないから。

義樹 それはまだわからないだろ？

信乃 28歳でしょ？ 才能ある人は、売れてなくても、その片鱗くらいは見

せてる年ですよ。でも長尾さんは、努力はしてるみたいですけど、上がって

いくのは小説のスキルじゃなくて、バイトのスキルと時給ばかり。この間

社員にならないかって言われたんですよね？

義樹 後輩の充って奴が先に社員に誘われてただけど、そいつがその話蹴っ

たから話が俺のところに回ってきただけだよ。

信乃 まあ、なんでもいいですけど、やめた方がいいよこの人は。

咲智 あ、大丈夫です。

義樹 大丈夫？

咲智 長尾さんに頼むつもり元々なかったんで。

義樹 えー！ ちょっと！ どういうことそれ？ 読んでもないのに俺の才能

を決めつけたってこと？

信乃 やっぱりですねー。顔に才能がないですもんね。

義樹 おい！

咲智 いや、そうではなくて、もうお願いできる人が決まってまして。

義樹 なんだそういうことか。

信乃 同じ学科の人？

咲智 そうですけど、信乃先輩よりも先輩です。

信乃 え？ 誰？

そこに、古屋が入ってくる。

○Side 『A』 Act. 2 scene. 4

古屋 呼ばれて飛び出てジャジャジャーン。噂をすればなんとやら。みんなお待ちかねの新進気鋭のマルチアーティスト！ 古屋悌とは俺のことですよーん。

間。

古屋 ……あれ？ さっちー、俺、今滑った？

咲智 どうでしょう。

古屋 滑ったっていいじゃない？ 人間だもの。すなを。まあ、とにかく、俺がさっちーに詩を提供してあげることになった東郷美術大学のOBナリよー。

義樹 (信乃に)かなりイタイやつだな。

信乃 ……。

咲智 でも悌さんなぜここに？

古屋 じえじえじえ！ さっちーが呼んだんじゃないの。ここで今日15時から打ち合わせって。

咲智 違いますよ！ 打ち合わせは明日ですよ！

古屋 え？ (スマホを見て) あ、ホントだ。ソーリーソーリーヒゲソーリー！  
うっかり八兵衛でございやすなこれは。

義樹 (信乃に)今西暦何年だ？

信乃 ……。

古屋 困ったなー。まいっちんぐマチコ先生ですなこれは。

咲智 どうしたんです？

古屋 いやー今日だと思ってたから、明日別件入れちゃったんだよねー。♪ト  
ウモロー、トウモロー、アイラビヤトウモロー、明日は「不」幸せ。

咲智 そうなんですネ。

古屋 さっちー。申し訳ないんだけど、今からにできない？ 折角偶然にも今

日も君はここにいたわけだしさあ？

咲智 えーっと。(信乃の方を見る。)

信乃 いいよ。行ってくれば？

咲智 すいません。

古屋 (ボックスの上の名刺を見つけ)あー！。忍葉さんの名刺じゃーん。♪

ジャジャジャジャー。運命だねこれは。(義樹に)あなたが忍葉さんのお知り

合い？

義樹 いや、こいつが。(信乃を指して)

古屋 へー、そうなんだー。あなたお名前は？

信乃 ……大塚信乃です。

古屋 しのびよんねー。ふーん。そうなんだー。君も、天才なんだねー？

信乃 え？

古屋 だって忍葉さんに発掘されたわけでしょ？ あの人の人そう簡単には名刺渡

さないよーん？

信乃 いや、私は、そんな。

古屋 (信乃の手をとって)♪ジャジャジャジャー！ 本日二度目！ 運命だ

よ。きつとこれは。

信乃 運命。

古屋 (名刺を信乃に渡して)しのびよんとは、これから長い付き合いになりそう

な気がするよ。俺の第六感がそう言ってる。ハーレイ・ジョエル・オスメン

トだね。

信乃 ハーレイ・ジョエル・オスメント。

古屋 そう。シックスセンス！ 忍葉さんは言ってたよ。『燃えよドラゴン』

でブルース・リーは言いました。『Don't think, feel-』と。』ってね！

HAHAHA-

信乃 忍葉さんってブルース・リーとかも引用するんですネ。

古屋 なにせ「チャンプル」だからね。

信乃 え？

古屋 世の中一番強いのは「チャンプル」。つまりごちゃ混ぜさ。

信乃 あの！

古屋 なに？

信乃 私も、東郷美術大学先端芸術表現科出身なんです。

古屋 へえ。そりゃジャジャジャーン本日三度目。三度目の正直。三度目の運命。さてと、交響曲を堪能したところで、さあ行こうかミッチー、さっちー。これから僕らの今後についての会議をしようじゃないか。

咲智 ミッチーはいません。

古屋、咲智、去る。

○Side 『A』 Act. 2 scene. 5

義樹 世の中にはすげーのがいるな！。

信乃 自称じゃないですよ。

義樹 え？

信乃 新進気鋭のマルチアーティスト。

義樹 え？

信乃 絵画を軸として、俳優やったり、染色家やったり、ポエム書いたり、ありとあらゆる手法で自分を表現していて、この間も世界遺産富士山表現とかいあの企画して注目されて大成功しました。

義樹 本当にすごいんだな！。

信乃 だから長尾さんはダメなんですよ。

義樹 はい？

信乃 芸術で成功する人ってのはあーゆーことなんですよ。長尾さんは普通すぎます。いや、普通よりちよつと下です。

義樹 ……俺だって、俺なりになあ。

信乃 俺なりじゃダメなんですよ。だから私も、ダメなんですよ。

義樹 おいおい酒も飲んでないのにこの前の流れか？

信乃 でも何か。

義樹 何か？

信乃 何か動けば変わるかもしれないってちよつと思いました。

義樹 え？

信乃 私、この前の飲み会、本当に家出るの久々だったんです。



義樹 どのくらい？

信乃 一年は出てなかったと思います。

義樹 そりやすごいな。

信乃 咲智のおかげですけど。外に出たら、なんか少し外が見えた気がします。なんか少し自分がふわふわしてて、まるで誰かの頭の中にいるみたいなの、うまく言えないですけど、本当にふわふわしてるんです。今だって初対面の人に自分アピールみたいな事して。だって。あれです。あれですよ。私なんて大学時代コンビニでバイトしてたくせに、今となってはコンビニで「レシート結構です。」の一言言うのですら、緊張してうまく言えないんですよ。結果レシートが財布の中にどンドン溜まって行って……。でも今朝コンビニで飲み物買った時に「袋いらさないです。」って。「レシート結構です。」って言えたんですよ。あ、言ったぞ。私ちゃんと言ったぞってなっただけです。だから、なんか、よくわからないですけど、負け犬だって歩けば棒に当たることもあるんじゃないかと。なんか、そんな風に思ったわけなんですね。

義樹 なるほど。そっか。……俺も頑張ってるや、いつかは箸か棒かには引つかかるかなー。

信乃 長尾さんは無理ですね。才能ないんで。

義樹 またお前は。

信乃 だって、同じ日に同じ場所にいたはずなのに、(忍葉の名刺を掲げて)この名刺、もらってすらいませんもんね。

【音響…ジエンカ F・I】

【照明…夜十転がしフラッシュ】

踊る集団が現れる。

義樹、信乃去る。

成孝と仁花、中央のボックスに座る。

踊る集団が去る。

【音響…ジエンカ F・O】

○ S i d e 『 B 』 A c t . 1 s c e n e . 1

【照明…地明かり】

居酒屋。

仁花 キャンプファイヤーが嫌い？

戌孝 あんなの渋谷のハロウィンとかの原型だろ。あーゆーことをね、小学校の頃からやらされて、それが正解みたいになってから俺らみたいなやつらの居場所がなくなるんだよ。

仁花 戌孝さんは、小学校の時からキャンプファイヤー楽しくなかったんですか？

戌孝 楽しくなかったどころか、仮病使ってキャンプファイヤーなんてやらなかったから。

仁花 戌孝さんって小学校の頃からそういう感じなんですね。

戌孝 足遅かったからな。

仁花 え？

戌孝 小学校なんて足遅かったらもう終わりだろ？ その時点から負け犬人生なんだよ俺は。

仁花 確かに足速い子がモテましたけど、また極端ですね。

戌孝 じゃあ市川は、小学校の時どんな男の子が好きだったんだよ？

仁花 あ、先輩、私の恋愛に興味でてきちゃいました？

戌孝 興味っていうか、市川は話しやすいブスだからな。

仁花 はい？

戌孝 世の中には陰のブスと陽のブスがいるだろ？ 俺らみたいなからすると陰のブスは喋っていると同族嫌悪になるわけ。かといって陽が強すぎるブスは接しづらいからな。市川は陽具合が丁度良くて接しやすいブスだからいいと思うよ。

仁花 ぜんっぜん褒められてる気がしないんですけど！

戌孝 別に褒めてはないもん。

仁花 (かわいこぶって) ひどーい。私、泣いちゃいますよ。

戌孝 いやー、ブスだなあ。

仁花 戌孝さん実はブス専だったりしないんですか？

戌孝 絶対に違うね！ 基本的にブスは嫌いだもん。ブスと付き合うってのは妥協だよ妥協！

仁花 じゃあ戌孝さんが今まで付き合ってきた人たちは美人だったんですか？

戌孝 その話はやめよう。

仁花 なんですすか！ ねえ、美人だったんですか？

戌孝 ……美人と言うか。

仁花 じゃあなんだかんだ言って結局ブスとつきあってたんですか？

戌孝 ブスと言うか。

仁花 ここに会社入る前に彼氏にフラれて2年彼氏できてないおススメのブスがいますよ？

戌孝 いやだからブスは無理だったの！

仁花 えー、だって結局ブスとつきあってたんですよね？

戌孝 つきあってない！ 俺は、ここに宣言する！ 俺は、ブスとは、つきあわない！

仁花 何ですかその宣言。じゃあ割とこう普通めの人と付き合いってたってことですか？

戌孝 まあ、そんな感じだよ。

仁花 写真ないんですか？

戌孝 ないよ。

仁花 じゃあネットで調べるんで名前教えてくださいよ。

戌孝 何でそんなことしなきゃいけないんだよ。

仁花 だって気になるじゃないですか？ それだけブスに拘り持ってる先輩がどんな人を好きになったのか。

戌孝 そんなことは気にならなくていい。そもそも俺はブスに拘りは持ってない！ ブスと付き合いたくないって拘りがあるだけだ！

仁花 あれ？ 戌孝さん、もしかして。

戌孝 なんだよ。

仁花 28にして？

戌孝 だからなんだよ。

仁花 わー、かわいい。

戌孝 先輩にかわいいとかいうな！

仁花 だって、そういうことですよ？ 美人とも普通ともブスともつきあつたことないんですよ？

戌孝 お前酔ってるな？

仁花 まあ多少酔ってますね。でもこの間の戌孝さんに比べたら全然酔ってな

いですけどね。

戊孝 そのこと出されると謝るしかなくなるけどさ。

仁花 戊孝さんって理想が高いんですね。

戊孝 まあ、そういうことだな？

仁花 そうなんですけどね、でも言われますよね？ 戊孝さんは理想が高いって。

戊孝 まあ、言われるけど。仕方がないだろそれは。

仁花 いいですか？ 理想が高いつて周りに言われるってことは、戊孝さんが周りからそんなに大した人間じゃないと思われてるってことでもあるんですよ。

戊孝 うっ。それはあるかも。

仁花 だから「理想が高いですねー。」って言われて浮かれてちやダメなんですよ。

戊孝 浮かれてねえよ！

仁花 「理想が高いですねー。」って言ってくる女は戊孝さんのことを下に見えますから、気を付けた方がいいですよ。

戊孝 じゃあどんな女の人ならいいんだよ。

仁花 私です！

戊孝 それはない！

仁花 はやっ！

戊孝 市川だって、俺なんかより、忠治みたいなやつの方が本当はいいんだろ？

仁花 戊孝さんって豊島さんコンプレックス強いですよ。

戊孝 豊島？ 強いよね。序盤、中盤、終盤、隙がないと思うよ。だから、俺は負けちゃうよ。

仁花 なんですかそれ？

戊孝 知らないのかよ。将棋界の伝説だぞ。

仁花 将棋知らないんですもん。ほら、豊島さんの前で、この前もなんか言ってますたよね？ 「忠治はいいよなあ。」って。

戊孝 もうこの前の話はやめてくれ。現実には引き戻される感じがする。

仁花 現実的に生きましようよ。

戊孝 やーなーの！

仁花 子供ですか。

戌孝 この前見た映画だってさあ、色んな冒険をして成長したぜやったあみた  
いになったと思ったら、実はゲームの中の世界で、現実では冴えないサラリ  
ーマンでしてみたみたいなオチだったからね！ もう、最悪だよ最悪！ 現実か  
ら逃げたいからファンタジー見てんのにさあ、待ってるのは現実かよ、本当  
に嫌になったよ。何があなたの物語だ！

仁花 まあ、それはなんとなくわかりますけどね。

戌孝 だろ？ 大人しく現実逃避させておいてくれってんだよ！ こっちは現  
実で主人公になれないから、映画とかアニメとかゲームの世界に感情移入し  
て逃げ込んでんのにさあ！

仁花 あ！ 気づきました！

戌孝 何が？

仁花 戌孝さんと豊島さんの違いです。

戌孝 いや、違いなんてありすぎるだろ？

仁花 そうなんですけど。豊島さんって悪口とか言わないんですよー。

戌孝 え？

仁花 ほら、戌孝さんって飲んだら基本悪口とか不満しか言わないじゃないで  
すか？ まあ私は別に悪口とか聞いているの好きなんですけど。でも  
今思ったら豊島さんってそーゆーの全然なくて、あれが面白かったとか、こ  
れが好きみたいな話が多かったなーって。

戌孝 なるほどな。まあ忠治は勝ち馬側の人間だからな。

仁花 勝ち馬？

戌孝 俺みたいな駄馬に生まれりゃ不満も多くなるってのそりゃ。

### 【音響…スマホの着信音】

仁花 あ、豊島さんだ。

戌孝 さらに遅れんのかな？

仁花 なんででしょうね。(電話に出る。) はい。市川です。お疲れ様です。あ、  
はい？ はい。え？ わざわざ？ はい。わかりました。行きます。え？ 来  
る？ 悪いですよ。え？ あ、そうなんです。わかりました。はい。お待  
ちしております。

戌孝 なんて？

仁花 もう来るらしいんですけど。

戌孝 けど？

仁花 営業先の人が挨拶に来るって。

戌孝 え？ なんで？

仁花 ほら、今度のやつ、私、豊島さんと同じチームじゃないですか？

戌孝 ああ。

仁花 それを話したら、私に興味持ったみたいで……。

戌孝 え、そんなことあるの？

仁花 そうなんですよ。びっくりで！

戌孝 え？ だってこの件の忠治の営業先って。

○Side 『B』 Act. 1 scene. 2

忠治と礼実が入ってくる。

戌孝、仁花、びしっと立ち上がる。

忠治 ああ、ごめんね急に。赤岩さんが仁花がどんな子か興味あるって言うて。

礼実 だって忠くんの話聞いてたらサー。

仁花 お会いできて光栄です。私、インワード葉山第一営業部の市川仁花と申します。（名刺を渡す。）

礼実 （受け取って）そんな固くならなくていいよー。ウチも今日名刺とかもってないしねー。（名刺を見て）仁花ちゃんってかわいい名前だよねー。

仁花 ありがとうございます。

礼実 でも嫌いなんでしょ？ その名前。忠くんから聞いたー。

仁花 あ、そうなんです。似合っていないじゃないですか。

礼実 だよねー。

仁花 あ、はい。

礼実 すごいわかるよ。ウチも自分の顔嫌いでサー。だからいっぱいメイクとかオシャレとかして、自分じゃない自分を求めてたカラ。モデルやってた頃は、整形だとか顔づくり過ぎとか、色々言われてたけどサー、んなもん知るかかってんだよねー。

仁花 はい、私、赤岩さんの、そういうところ、昔からすごく好きで。

礼実 ありがとー。あと礼実さんでいいよー。赤岩って苗字あんま好きじゃないしねー。

仁花 あ、はい。いや、でも。

礼実 お願い！

仁花 はい。わかりました。礼実さん。

忠治 仁花、会議ですごい力説してたんですよ。今回のコラボ企画は赤岩さんしかないって。

礼実 えーうれしー！

仁花 企画会議してて、今のインワードには、礼実さんがデザインしたようなファンシーな路線ってなかったんで、これは絶対推そうって思ったんです。

礼実 へー。じゃあやっぱりアレだね。

仁花 あれ？

忠治 さっき今回のコンセプトを赤岩さんと相談してたんだけどさ。

礼実 会って確信したわ。今回は仁花ちゃんに似合う服ってのを前提にデザインするわ。

仁花 え？

礼実 よし決めた！ じゃあ後は次の打ち合わせだね。今、仁花ちゃんと会って、イメージ湧いたから。それ持つてくわ。

忠治 承知しました。ありがとうございます。仁花の資料とかお送りしましううか？

礼実、仁花の身体をぼんぼん触る。

仁花 え？ いや、あの。

礼実 うんうんうんうん。おっけーおっけー。いい感じよ仁花ちゃん！ とり

あえず資料は大丈夫。全部今ウチにインプリントされたカラ！

忠治 流石です！ 次回を楽しみにしております。

礼実 じゃあウチ帰るわ。あんまりお邪魔しても悪いしね。

仁花 いえ。

忠治 お疲れ様です。

礼実 お疲れー。今日はウチもいい酒が飲めそうだわー。さんころんでも誘お

うっと。(電話をかけながら) あ、もしもし、さんころん？ あんた20歳になつたからもう酒飲めるんしょ？ 飲もうよ。さんころんびーむ。

礼実、電話で話しながら去る。

○Side 『B』 Act. 1 scene. 3

忠治 いやー、ごめんごめん突然で。でも、会わせてよかったよ。

仁花 豊島さん何飲みます？

忠治 とりあえずビールかな。

仁花 了解です！

ボックスに座る3人。

忠治 結城も悪いな。巻き込んじゃって。

戌孝 いや、いいよ。どうせ多分同じ会社のやつとも思われなかったから。

忠治 まあ、赤岩さんぐわーってタイプだしな。いやでも仁花、よかったな。

仁花 なんで私に合わせたデザインって話になったんですか？

忠治 赤岩さんが言ってたんだよ。かわいい女の子にしか似合わない服をつくるのは間違ってるってさ。そういうえば、仁花が会議でそんな話してたなと思つて仁花の話したら、これがどんぴしゃ！ そういう女の子が欲しかったつて言つて喜んじゃつてさ。

仁花 そうだったんですね。何か夢みたいです。礼実さんって言ったら私達世代からすれば超カリスマですからね。みんな高校生の時とか礼実さんのマネしてましたもん。

忠治 そうなんだー。俺たちは、わーまた面白いのが流行ってるなーって感じだったけどな。(戌孝に) なあ？

戌孝 ん？ ああ。

忠治 いや、すごいよな。そういうのがこう仕事につながるってのはさ。

仁花 はい！ 感激です！

戌孝、財布からお金を出す。



忠治 あれ？ どうしたの？

戌孝 いや、ちよつと用事思い出してさ。

仁花 戌孝さんこの時間から用事なんてあるんですか？

戌孝 プライベートなアレだよ。アレ。アレがコレで、もうソレもんでさー。

悪いな。また今度。この前のお詫びで多めに出しとくから、な。

忠治 まあ用事あるならしよがないよな。おう、また今度。

仁花 そうですよ！ 今度私のお祝いしてくださいね！

戌孝 ああ、そうだな。勝ち馬昇格おめでとう。

仁花 勝ち馬？

戌孝 いや、また今度。

忠治 お疲れ様です。

仁花 お疲れ様です。

戌孝 お疲れ様です。

戌孝、去る。

【音響…ジエンカ F・I】

【照明…夜＋転がしフラッシュ】

踊る集団が現れる。

忠治、仁花、去る。

踊る集団が去る。

【音響…ジエンカ F・O】

○Side 『B』 Act. 2 scene. 1

【照明…夜】

人気のない路上。

戌孝、ストロングゼロを持ってフラフラと入ってくる。

嘔吐し、うづくまる。

【音響…ジנגリスカン F・I】

【照明…夜＋転がしフラッシュ】

戌孝 え？

忍葉、畏齋、踊りながら入ってくる。

忍葉はラジカセとペットボトルを持っている。

踊りながら、戌孝の前を通り過ぎていく。

【音響…ジンギスカン F・O】

【照明…夜】

戌孝 くそつ。キャンプファイヤーでもないのにジンギスカンかよ。

【音響…ジンギスカン F・I】

【照明…夜+転がしフラッシュ】

忍葉、畏齋、踊りながら戻ってくる。

戌孝 え？ 何で？ 聞こえた？ 今の？

忍葉、畏齋、踊りながら戌孝に迫っていく。

戌孝 え？ 何？ 何？ 何？ 何？ なんだよー！

忍葉、畏齋、踊りながら戌孝の前で止まる。

忍葉、ラジカセを止める。

【音響…ジンギスカン C・O】

【照明…夜】

忍葉 大丈夫ですか？

戌孝 え？

【音響…BGM C・I】

【照明…暗転】

【音響…BGM F・O】

【照明…地明かり】

セミナー会場。

中央のボックスには信乃と戌孝が座る。

信乃は先程までと違い、綺麗な装いをしている。(ひらひらしたスカート)

上手のボックスには古屋が立ち、下手のボックスには礼実が座る。

2人は首からメンバーズカードをぶら下げている。

古屋の横には忍葉、畏齋が立っている。

畏齋 以上、マルチアーティスト古屋悌さんによる講義でした。えー、10分休憩を挟みまして次の講義は、元カリスマギヤルモデルの赤岩礼実さんによる講義になります。

古屋、お辞儀をして座り、忍葉、畏齋と何か話している。

信乃 あの。

戌孝 はい。

信乃 初めのご参加ですか？

戌孝 あ、はい。

信乃 私も最近、チャンプルーの一員になったんです。大塚信乃と言います。

戌孝 あ、結城戌孝です。

信乃 古屋さんの話、すごいよかったですよね。

戌孝 あ、はい。そうですね。

信乃 実は、私、ここに来るまでは、こうして人に話しかけたりもなかなかできないうタイプだったんです。

戌孝 へえ。

信乃 ここなら、私も何かに挑戦できるかなって思って。

戌孝 はあ。

信乃 私、ここに来るまでニートだったんですけど。

戌孝 えー、見えないですね。

信乃 ここに来るようになったら、両親も大喜びで、もう涙まで流しちゃって、「あ、この人たちはやっぱり私がちゃんとしたら嬉しいんだ。」って思ったんですよね。

戌孝 あー、確かにうちの両親も俺が就職した時、すげー喜んでた気がするな  
し。

礼実が近づいてくる。

礼実 あれ〜。君はこないだの。

戌孝 あ、どうも。

礼実 仁花ちゃんの彼氏さん。

戌孝 (信乃を見て) いや、違います！ あれはただの会社の後輩で。

礼実 あ、そうなの。仁花ちゃんは「ただの」って感じじゃないように見えたけどな〜。

戌孝 (信乃に) いや、ほんと、そういうのじゃないので！

信乃 あ、はあ。

礼実 あれ〜。なんで、しーちゃんに言ってるのかな？

戌孝 いや、別に。

礼実 あー、あれか。一目惚れっしょ、しーちゃんに。しーちゃんかわいいからなく。しーちゃん気をつけなよ。こいつしーちゃんのこと狙ってるよ。

信乃 いや。

戌孝 狙ってません！

信乃 すいません結城さん。礼実さん私が男の人と話してるっていつもこんな感じで。

戌孝 いや、別に大丈夫ですよ。

忍葉、畏齋、古屋が近づいてくる。

忍葉 ドイツの哲学者アルトウル・ショーペンハウアーは言いました。「私達は、他人と同じようになろうとして、自分の4分の3を失ってしまう。」  
と。そんな生き方はしたくないから私達、そして皆さんはここにいますと思う

のです。結城戌孝さん、いかがでしたか？ 初めてのセミナーは。

戌孝 あ、どうも。いや、正直、最初は才能開発セミナーとか胡散臭いなんて思ってたんですけど、だって初対面がジングスカンですし、でも意外とちゃんとしているというか、まっとうな理論だなというか。

古屋 そりゃそうさ。だって俺の話だもん。その辺の胡散臭いやつらと一緒にされちゃあこまったこまったこまったさんのスパゲティ。

礼実 あんたは見た目とその喋りが胡散臭いかんねー。

古屋 そんなこと言っちゃあ、だめんず・うお〜か〜、ルーク・スカイウォーカー。今日の晩酌はジョニー・ウォーカー。

畏齋 古屋さん、それぞれ！ それが胡散臭いんですよ！

忍葉 そういふ大部屋の服装も胡散臭いでしょう。

畏齋 忍葉さん、僕、扇谷です！ 大部屋だと江戸時代、大名屋敷で、「臥煙(がえん)」と称した火消し人夫が起居していた大きな部屋。また、小者、人足な

どの詰めていた所。になっちゃいますよ！

忍葉 物知りね。

畏齋 扇谷です！

礼実 忍葉さんそーゆー意味で言っただけから！

古屋 ねーから、ねーから、おめーの席ねえから！

戌孝 なんか、楽しそうですね。

忍葉 私たちは「チャンプルー」。セミナーで講義と言う形式があったとしても、ひとたび休憩時間になれば、そこに講師と生徒の垣根はないのです。

畏齋 ジングスカンはモンゴルの偉人をドイツ語で歌い日本を含め、世界的に

ヒットした曲！ まさにチャンプルーの象徴なのです！

戌孝 そうなんです。あの、扇谷さんは占星術師なんですよね？

畏齋 そうですよ。

戌孝 チャンプルーの行く末とかを占っているんですか？

畏齋 いえ、僕は基本的に個人営業でお店を持っているだけで、チャンプルーでは事務的な補佐をしています。肩書は僕のお願いで「占星術顧問」になっ

てるんですけど、忍葉さん、占いとかはあまりやらない方なので。

戌孝 そうなんです。ね。

畏齋 よかったら今度お店に来てください。安くしますよ。

礼実 えーずるーい！ ウチも占っつー。

古屋 そうなつてくると俺も占つてほしいわよー。「地獄に落ちるわよー」と言  
つてほしいわよー。

畏齋 そういうのは、やりませんが、みなさんいつでも来てください！

忍葉 どうでしたか、信乃さん、古屋さんのお話は。

信乃 そうですね、私、なんか勝手にやりたいことって1つに絞らなきゃいけ  
ないような気がしてたんですけど、そんなことは無いんだって気づかされた  
というか。

信乃は上手方向に、戌孝は下手方向に移動しながら。

信乃、忍葉、畏齋、古屋、礼実、そのまま去る。

咲智、義樹、入ってきて信乃とともに上手に座る。

忠治、仁花、入れ替わりで入ってきて下手のボックスに座る。

信乃・戌孝 年齢も性別も生まれも環境も関係なく色んなことに挑戦してい  
んだって思えて、やりたいことの見つかつてない自分を肯定できたというか、  
この年から始めることって一生ものにしなきゃみたいなの勝手な思い込みがあ  
つたんですけど、そういうのから解放された気がしました。

○Side 『B』 Act. 3 scene. 1

【照明…下手】

居酒屋。

戌孝 だつてさー！

忠治 いい考え方じゃない？

戌孝 ポイントはそこじゃない！

忠治 え？

仁花 じゃあ何がポイントなんですか？

戌孝 その話し方がさあ。かわいいんだよ。

仁花 はい？

忠治 その子に惚れたつて話？

戌孝 惚れたまではいかないけどさ、なんだ？ 久々にうなぎ食べるとおいし

いじゃんかやっぱ。わかる？

忠治 うなぎ？

戌孝 久々にかわいい女の子とおしゃべりできて嬉しいってことだろ！

仁花 かわいい女の子をうなぎに例えないでください。

戌孝 ギリシヤの哲学者ソクラテスは言いました。「生きるために食べよ、食べるために生きるな。」ってな！

仁花 だからなんなんですか？

戌孝 だから俺は今まで食べるために生きちゃってたなって思うのよ。

忠治 身につまされるな。で？ つまり結城はそのチャンプルーって会社に就

職しようとしてるってこと？

仁花 戌孝さん、やめちゃうんですか？

戌孝 それなー。どうしよつかなーってさ。

忠治 まあ、もう少しその会社について調べてからでも遅くはないよな。

戌孝 そうだよなー。いくら信乃ちゃんがかわいいとはいえ、それだけで俺が主人公になったわけじゃないからなー。漫画の主人公なら、そこに入社して

活躍していくんだらうけどなー。

仁花 入っちゃえばいいじゃないですか。

戌孝 え？

仁花 戌孝さんがこんなにポジティブに話してるの初めて見ましたもん。きっ

とそういうターニングポイントなんですよ！ 一歩踏み出すべきです！

戌孝 そうかなあ。

戌孝、仁花、忠治、そのまま無声で話し続ける。

## ○Side 『A』 Act. 3 scene. 1

### 【照明…上手】

義樹 いやー、でも本当に入社おめでとう。

信乃 ありがとうございます。入社っていうか、メンバー？ 会員みたいな感

じですけどね。

咲智 でもすごいですよ！ 悌さんと同じなんて。

信乃 まあ同じって言っても、私はまだ入りたてだし、一緒に仕事したりはできないだけだね。

咲智 でもそのうちはあるってわけじゃないですか。すごいなー。

義樹 そうだよ。一流の人たちと一緒にやれるなんて羨ましいな。

信乃 長尾さんも入れればいいんですよ！

義樹 何言ってるんだよ。前に言ってただろ？ 俺は名刺すらもらってないんだって。

信乃 名刺はそうかもしれないんですけど、セミナーは関係者の紹介があれば、受けれるんですって！ 聞きたくないですか？ 古屋さんとか、ほら、元カリスマガヤルモデルの礼実さんの話とか！

義樹 そうなんだ。まあ聞きたいっちゃ聞きたいかもな。

信乃 そうなんですよ。他にもすごい人の話がいっぱい聞けるんです。聞くだけじゃなくて、実戦的なワークショップとかもあるし。

義樹 それ行ったら俺でも小説家になれっかなー。

信乃 なれますよきつと！

咲智 なんか、前より明るくなりましたよね、信乃先輩。かわいくなった気がします。

信乃 そう？ まあ昔のことは忘れたよ。ニーチェも「忘却はよりよき前進をうむ」って言ってたらしいしね。

義樹 大塚そんな言葉よく知ってるな。

信乃 勉強してますからね。古今東西あらゆる知識、全てごちゃ混ぜに自分の中に吸収していく。それがチャンプルーのよさなんですよ。

咲智 すごいですね。

信乃 咲智も来なよ！ セミナー！ 絶対ためになるって！

信乃、咲智、義樹、そのまま無声で話し続ける。

○Side 『B』 Act. 3 scene. 2

【照明…下手】

戌孝 あ、ごめん。俺ちよっとトイレ。



戌孝、席を立つ。

ほぼ同時に信乃も席を立つ。

【照明…地明かり】

戌孝 あ。

信乃 (同時に) あ。あーどうも。その節はー。

信乃、戌孝に駆け寄ろうとするが、何かにつまずきこけそうになる。

信乃 ああっ！

戌孝 あっ大丈夫ですか？ (手を差し伸べようとする。)

【照明…転がしフラッシュ】

【音響…BGM F・I】

2人、奇想天外なこけ方をして、最終的に戌孝が信乃のスカートの中に頭を突っ込む体制になる。

【音響…BGM F・O】  
【照明…地明かり】

間。

戌孝、慌ててスカートから出る。

戌孝 ああああああ、す、すいませんでした！

信乃 ごごごごごごご、ごめんなさい！ 私こそお見苦しいものを。

戌孝 いえ、お見苦しいどころか、パラダイスで。

信乃 パラダイス？

戌孝 いや、あの！ 本当、すいません！ あー信乃さんもまさか同じ居酒屋にいらっしやっただとは。いや、あの、また！ またセミナー行こうと思ってますんで、はい。また、お会いしましょう！

信乃 あ、そうですね。はい。ぜひまた。

2人、逃げるように自分の席へ戻る。



いで周囲に迷惑をかけてしまっているという罪悪感がありました。ですが、その主治医の先生の言葉によって少し救われた気がしたんです。自分がドラマの主人公ならば、もう少し頑張ってみよう、そう思いました。それからです。奇跡的に病状が回復したのは。こんな言い方は不適切なのかもしれないが、脇役ならば私は死んでいたのでしょうか。でも、生き残った。イギリス出身のミュージシャン、ジョン・レノンは言いました。「ぼくが5歳の時、母はこう言っていた。『幸せこそ人生に必要なこと』。学校へ行くと、将来の夢を尋ねられる。ぼくは『Happy』と書いた。みんなはちゃんと質問の意味を理解しろという。だから、彼らに教えてあげたんだ。『君たちは人生をわかってない』」目標を達成しようが、なりたいたいものになれようが、「幸せ」でなければ全て虚しいだけなのです。私は生きることの「幸せ」さを知っています。だからジョン・レノンと同じように皆さんに教えてあげたいのです。幸せこそ人生に必要なことだと。

古屋（同時に）やりたいことがみつからない？ やりたいことなんてない？ じゃあさあ、だったらさー、全部やっちゃえば？ 「やっちゃえ、俺様。」みたいなことだよ。人生時間限られてるんでしょ？ じゃあなんもしないよりはなんかした方が絶対得だよ。人生ってギャンブルな訳。時間っていうチップを、どこにどれだけベットするかって話よ。たださ、この時間を使った際の倍率ってのは、その人その人それぞれなんよ。だから時間全部をどっかにつぎ込む、まあ例えば運動音痴が野球選手になるためにそこにはっきり時間をベットをするのは、倍率低いよねーって思っちゃうって話。倍率がさあ目に見えりゃあまだやりやすいんだけど、厄介なのが、倍率が見えにくいよね、これ。1つの物事の倍率を知るために必要な時間ってどれくらいだと思う？ 1万時間。1万時間だつてさー。そんなにかかるならもう、片っ端から手を出して1万時間費やしてさつさと倍率高めのやつをみつけないとやばいよね。なにもしないでいると勝手にチップは減ってっちゃうからさ。だったらなんでもいいから1万時間やっていけば、大儲けできる可能性があるわけよ。

礼実（同時に）自分の顔が嫌い？ いいじゃんそれで。じゃあそこをスタート地点として、何ができるか考えてみ？ 嫌いな自分のままで終わりたいくないじゃん？ ブスとか言ってくるやつがいたらウチは毎回聞いてたね。「じゃあ、どうすりゃいいの？ 治し方を教えて。」つてさ。治せないもんなら、言

つてくる奴が間違ってるんじゃない？ そう思わね？ だって生まれつき目が見えない人に、めくらーとか言ってもどうにもなんないじゃんね？ でもさ、目が見えない人のための技術って進んでんじゃない？ ウチもよくわかんないけど、コンピュータ？ で神経とつないでなんとかってさ。同じじゃね？ 整形とかメイクとかファッションの進化って、そーゆー進化と一緒になのよ。目も見えない人は、もし見えるようになる方法があるってなったら努力するっしょ？ ブスも同じじゃない？ きれいになれる方法があるってわかったら努力すんじゃない？ だからウチはその努力の方向を提供したいし？ 自分もそこに向かって努力したいし？ みたいな？ そこに文句言ってくる奴は、マジでクソだよ。じゃあお前ら、生まれつき足が弱くて歩けるようになるために頑張ってる人にも文句言えよ馬鹿にしるよってね。でもさ、努力の方法まで提供されて何もしないのもクソだと思うよ。諦めんよってウチは思っ  
ね。

忍葉、古屋、礼実、畏齋、戌孝、信乃、去る。

【照明…ブルー】

そこへ雲を持った集団が現れる。雲たちは配置について静止する。

【音響…応援ソング F・O】

## ○Side『C』 Act. 2 scene. 2

古屋の個展。「雲を染める」

静止した雲を眺めながら。

戌孝 雲の色って言ったら白とかオレンジとか紫とかを想像しがちだけど、別にそんなのに囚われる必要もないってわけだ。さすが古屋さんだよ。

信乃 はい。古屋さんは枠に捉われないんです。智恵子抄で有名な高村光太郎は「人が『緑色の太陽』を画いても僕はこれは非なりと言わないつもりである。僕にもそう見える事があるかも知れないからである」と言ったそうですから。

戌孝 おうい雲よ

ゆうゆうと

馬鹿にのんきさうぢやないか  
どこまでゆくんか

ずっと磐城平の方までゆくんか

(山村暮鳥)

信乃 山村暮鳥。雲。

戌孝 古屋さんは本当に雲みたいな人だ。掴みどころがない。よく雲の上の存在なんて言い方をするけどさ、あの人はまさにそんな感じだよ。

信乃 わかります。

戌孝 でも、本当に、本当に、ちよつとなんだけど、今は、そんな古屋さんとさ、同じところでやれてるというか、そんな感覚があって、嬉しいんだよね。

この「雲を染める展」もさ、まあ、大したことはしてないけど、会場準備とか、ある意味、少し、古屋さんと一緒に仕事をしたわけだしね。

信乃 わかります。子供の頃、誰しもが空を見上げてあの雲にのぼってみたい、そんな風に思っていたはずなんです。だけど大人になるにつれて、人は気づいてしまうんです。あの雲はただの水蒸気の塊で、その上にいることはできないって。でも、違うんです。大人になって、もちろん、あの雲が水蒸気だなんてことは知ってるんですけど、それでも、そんなことはわかってても、子供の頃に夢見たあの雲にのぼってみたい、その心を忘れなかった人たちだけが、空を飛べるんだと思いました。

戌孝 俺、ずっと、そうだった。雲が水蒸気だって知ってから、雲にのぼろうとするやつらのことを馬鹿にしてたんだ。でも、間近で雲にのぼろうとする人たちと触れ合ってる。それを目指し続けることがどれだけ大変なことかって。

畏齋、映智、入ってくる。

畏齋 チャンプルーの会員になって頂ければ、古屋さんのようなが開くこのような個展などにも特別料金でご招待することができます。学生さんなんかですと、せつかく色々なものを見て刺激を受けたい、勉強をしたいと思っても、お金がそうさせてくれなかったりすることがあります。チャンプルーはそんな方々をサポートして次世代アーティストを育てたいという目的もあるのです。

咲智 そのサポートは嬉しいかも知れないです。正直見たいもの見るために必要な毎月のお金が半端じゃないんで。私、全然家庭が裕福でもないんで、バイト掛け持ちとかしなきゃそもそも暮らしていけないのに、そこにプラスアルファするお金の余裕って正直そんなになくて。

畏齋 そうですよ。そんな学生時代を過ごされたアーティストの方も多いので、多くのアーティストの方に支援を申し出て頂いているんです。

咲智 なるほど。

戌孝 あ、畏齋さん、お疲れ様です。

信乃 お疲れ様です。

畏齋 お疲れ様です。

信乃 来てくれたんだ。

咲智 はい。今、お話を聞いていいなと思っていました。怖さんもいますしね。

戌孝 知り合い？

信乃 はい。大学の後輩で。

咲智 どうも。

戌孝 あの、畏齋さん、先程のお話なんですけど。

畏齋 はい。なんででしょう。

戌孝 アーティストの方々には支援を申し出てもらってるって言っていましたよね？

畏齋 そうですね。

戌孝 それって、なんか、こう、つまり、アーティストの方々には営業？ みたいなことをするってことですか？

畏齋 はい。そういうことになります。弊社の営業部門がありますので、そこから。

戌孝 あの！

畏齋 はい。

戌孝 その営業のお仕事、お手伝いさせていただくことは可能でしょうか？

畏齋 え？

戌孝 あの、ほんと、最初は給料とかいららないんで！ もしお役にたてるようでしたら中途入社として雇って頂ければ。

信乃 戌孝さん。

戌孝 俺は、芸術とか、つくったりできないんで！ でも！ なんか、こう！  
なんか、したいんです！ お願いします！

畏齋 ……お気持ちはあるんですが、困りましたねー。そんな裏口入社みたいなのはなかなかさせてあげられないですし、かといってただで働かせるというのも、それはそれで問題がありますし。少し忍葉さんとも相談させてもらってよろしいでしょうか。

戌孝 あ、すみません。いきなり。

畏齋 いえ、お気持ちはすごく、嬉しいんですよ。

戌孝 すいません。

咲智 あのー。私も1個聞いていいですか？

畏齋 はい。

咲智 扇谷さんって、なんでそんな感じでやってるんですか？

畏齋 え？

咲智 いや、なんでそんなキャラでやってるのかなって。

信乃、咲智を連れ出して

信乃 ちょっと！ それ駄目だよ！ 誰も今まで触れてないんだから！

咲智 なんですですか？ まず気になりませんか？

信乃 そうなただけど。あるじゃん！ 聞いちゃいけない空気って！

咲智 わかりませんよそんな空気！

信乃 わかるでしょ？ 触れちゃいけないオーラって！

咲智 オーラとか見えませんし私。

信乃 そーゆー意味じゃなくてさあ。

畏齋 妹がね！ いたんですよ！

信乃・咲智 はい？

畏齋 東郷大学医学部付属病院に入院してたんですけど！ なんで入院してたかっていうと！ どんどんどんどん物を忘れていく病気で！ 僕のこともだんだんだんわからなくなっ！ だから！ 妹が少しでも忘れにくいように！ 悲しい顔してたら妹も悲しむからなるべく笑ってようって！ そう決めて！ 占いとか勉強しだったのも、そのくらいの頃からで！ だって、医療じゃもうどうしようもないから！ かといって諦めたくもないから！

助けてくれる気がしたんですよね！ 占いが！ でも、それでも、どんな  
どんな妹の記憶はなくなっていくから！ そしたら！ なんか！ 突然！  
小学校の頃の記憶とかは急に復活したりして！ あるんですって、幼少期の  
記憶だけ戻るみたいなことが！ で！ 小学校の頃、僕たち兄妹、ボーイス  
カウトみたいなことしてましたので！ そこでやったキャンプファイヤーが  
楽しかった思い出があるらしくて！ ジンギスカンとかジェンカとか踊るん  
ですよ！ 急に！ 笑顔で！ それはもう！ 今まで見たことないくらい  
飛び切りの笑顔で！ 最初はびっくりしてたんですけどー！ あんまりにも  
妹が楽しそうに踊るもんだから、僕も悲しいんだけど楽しくなってきちゃっ  
て、それでー、もう、妹はこの世にいないんですけどー、やめられなくて！  
忘れたくなくて！ 忘れられたくなくて！ いまだにジンギスカンとか  
踊ってます！

間。

畏齋 ……とかいう話があったら、感動的なんですけどね。実際はこうでもし  
ないと古屋さんみたいな人たちについていけないだけですよ。

咲智 は、はあ。

戌孝 大変ですもんね、古屋さんみたいな人についていくのは。

信乃 そうですよね。

畏齋 さて、朝来野さん、つづいてチャンプルーのオフィスをご案内しましよ  
うか。オフィスにはワークスペースやアトリエもあって、予約制ですが、会  
員の方は自由に使用できるんですよ。

咲智 あ、見てみたいです。

畏齋、咲智、去る。

戌孝 本当かな？ 嘘かな？

信乃 どうでしょう。ああいう人ですから。

戌孝 どっちの話にしてもき、畏齋さんも努力してああしてるってことだもん  
ね。そう考えたらすごいよね。

信乃 そうですよ。



戌孝 どう？ この後、軽くカフェでも行く？

信乃 あ、いいですね！

戌孝 じつはいくつか、この辺の美味しそうなカフェの情報調べてきててさ。

信乃 さすがです！

戌孝、信乃、去る。

○Side『C』 Act. 2 scene. 3

【照明…夕焼け】

【音響…BGM ベートーヴェン 悲愴 F・I】

しばしのち、古屋が入ってくる。

古屋、詩を読みながら、雲に触れていく。

触れられた雲は、霧散する。

古屋 自分は光をにぎっている

いまもいまとてにぎっている

而(しか)もをりをりは考へる

此の掌(て)のひら)をあけてみたら

からっぽではあるまいか

からっぽであつたらどうしよう

けれど自分はにぎっている

いよいよしっかり握るのだ

あんな烈しい暴風(あらし)の中で

掴んだひかりだ

はなすものか

どんなことがあっても

おゝ石になれ、拳

此の生きのくるしみ

くるしければくるしいほど

自分は光をにぎりしめる

(山村暮鳥)

忍葉が入ってくる。

【音響…BGM ベートーヴェン 悲愴 F・O】

忍葉 山村暮鳥。

古屋 期間中にね、ここで山村暮鳥の雲を詠っている自分と同じくらいの男を見たんですよ。そしたら急に確かめたくなりまして。自分は光を握っているのだからかってね。

忍葉 あなたは光を握ってるわ。

古屋 そうありたいものです。

忍葉 ひとまず、個展終了お疲れ様。

古屋 ありがとうございます。で？ ご用件は何でしょうか？ あまりいい知らせではなさそうですね。

忍葉 次の決算、チャンプルー創業以来初めて、赤になる。

古屋 まあ、今年は投資が多かったですから、仕方がない面もあるでしょう。

忍葉 今チャンプルーは変革を求められている。従来のビジネスモデルだけではやってはいけないところにきていると思うのよ。

古屋 なら、新しいことをするしかないでしょうね。

忍葉 チャンプルー創業以来、挑戦の時には、常に、あなたがいてくれた。今回も期待してる。

古屋 新しい風が、新しい波が吹くというのであれば、それは、意外と雲を詠った奴のようなところからなのかもしれないよ。

忍葉 そういえば扇谷が何か相談があるって言ってたわね。

古屋 へえ？ それはなんか運命的なものを感じますね！ ジャジャジャジャーン！【音響…ベートーヴェン 運命 F・I】【照明…レッド】物語は運命的に動き出す！ 歯車が合わさっていく瞬間があるのだ。まるで誰かの掌の上にあるかのように！ そう！ 全ての人生は、運命は、決まっている！ 定められた結末に向けて物語は加速する！ 抗えない枠組みの中！ その枠の中でしか我々は動くことができない！

忍葉・古屋 これからチャンプルーは未曾有の経営危機に瀕する！ その窮地を救うのは、この物語の主人公に、ヒーローになりえるのは！

【照明…スポット】

忍葉、古屋、去る。

忠治、仁花、下手のボックスへ、咲智、義樹、上手のボックスへ座る。忠治、仁花、無声で深刻な雰囲気でお話。

【音響…ベートーヴェン 運命 F・O】

○Side 『A』 Act. 4 scene. 1

居酒屋。

【照明…上手】

義樹 え？ 咲智ちゃんも行ったの？ チャンプルー。

咲智 はい。先輩に誘われてましたし、悌さんもいるんで。長尾さんは結局行っていないんですか？

義樹 ー。なんか。

咲智 なんか？

義樹 いや、そんなアレで成功できるのかなーって。

咲智 どういうことですか？

義樹 なんかイマイチ信用できないというか、俺は俺の力で勝負したいと言っか。

咲智 小説家ってそうなんですかね？

義樹 え？

咲智 ほら、1人の勝負じゃないですか、小説って。

義樹 そうだな。

咲智 だから仲間がいなくても平気とか？

義樹 うーん。そう言うのじゃない気がすんだよなー。

引き続き無声でお話を続ける咲智と義樹。

○Side 『B』 Act. 4 scene. 1

【照明…下手】

忠治 結城がおかしい？

仁花 はい。なんかここ最近誘っても全然来てくれないですし。

忠治 前に言ってた女の子とうまくいってるとかじゃないの？

仁花 だったらいいんですけど。

忠治 何？

仁花 この前、駅前で見ちゃったんです。

忠治 結城を？

仁花 はい。

忠治 声かけたの？

仁花 いや、かけようと思ったんですけど、戌孝さん、妙にそわそわしてて、声かけれずにいたんですよ。そしたらビルにすつと入って行ったんですけどね。

忠治 うん。

仁花 そのビル、アホムとかラブフルとかが入ってる消費者金融のビルなんですよ！ ご利用は計画的に、なんですすよ！

忠治 あいつ金に困ってんのか？

仁花 困らなきゃそんなところ行かないですよね？

忠治 まあな。でもあいつ、すっかり退職金ももらってるはずだし、そこそこ貯金もしてたっぽいのに、こんな半年やそこらの短期間で、金なくなるかね？

仁花 だから心配してるんです。

忠治 チャンプルーか、女か。

仁花 そうですよね。

忠治 赤岩さんに聞いてみるか。

仁花 礼実さん？

忠治 なんか前にチャンプルーで講義したことあるって言ってたんだよな。

仁花 礼実さんもチャンプルーなんですか？

忠治 いや、ちよつとそこら辺はわかんないわ。

仁花 でも、聞いてみる価値はありそうですね。

忠治 善は急げか。赤岩さんに連絡してみよう。

仁花 豊島さんって、絶対赤岩さんって言いますよね。

忠治 え？

仁花 礼実って呼んでって礼実さん言わないんですか？

忠治 断ってるんだよ。

仁花 え？

忠治 あくまで仕事上の付き合いだからね。その辺は割り切らないと。

仁花 なるほど。

無声で話し続ける2人。

○Side 『A』 Act. 4 scene. 2

【照明…上手】

咲智 だから！ 長尾さんみたいな人こそチャンプルーに来るべきなんです

よ！

義樹 うーん。でもなあ。

咲智 いいんですか？ このままじゃつまないまま人生終わっちゃいます

よ？

無声で話し続ける2人。

○Side 『B』 Act. 4 scene. 2

【照明…下手】

礼実が入って来る。

忠治 あ、すいません。わざわざ。

礼実 いいのいいの丁度この辺で飲んでたし、丁度にちよぱがもう帰らなきや

くって言うからサー。

忠治 で。お話しした件なんですけど。

礼実 それねー。正直ウチはお金もらって月2位でお話ししに行ってるだけだからよくわかんないんだよねー。でもいたよ。そのナントカくんって人。

仁花 何かこう、そのセミナー、不自然な感じとかはありましたか？

礼実 不自然、んー何だろうねー。あー、メンバーズカードもらったわ。

忠治 メンバーズカード？

礼実 講義の日はこれかけといてくれって。チャンプルーの？ 会員証みたいなやつぶら下げてたナー。

仁花 礼実さんはメンバーじゃないんですか？

礼実 えー違うよー。ウチはお金もらったただけだもん。結構金払いいいから、儲かってんのかなーって思ってたけどねー。

仁花 豊島さん！

忠治 うん。あの！ 礼実さん！

礼実 なに？

忠治 ちょっと協力してくれませんか？

礼実 ねーねー、今ウチのこと礼実さんって呼んだっしょ？ 忠くんマジだね？

無声で話し続ける3人。

○Side 『A』 Act. 4 scene. 3

【照明…上手】

義樹 そりゃあ、俺だって売れたら嬉しいし、そのために頑張ってはいるんだけどさ。

咲智 けど、何ですか？

義樹 いいんだよ別に。俺は小説書いているのが好きだから。売れなくてもさ、何だ？ 書いてる内は幸せっていうかさ。ほら、なんか学生時代の部活ってさ、勝てなくても楽しかったじゃん？ でもそれは真剣にやってないとかじゃなくてさ。全国行けなくても、地区大会3位くらいでもめっちゃ嬉しいし、そういう感覚？ ゼロカイチかじゃないと思うからさ、人生は。

咲智 そんなんだから長尾さんはダメなんですよ！

義樹 え？

咲智 失礼します！

咲智、去る。

【照明・中央】

義樹、席を立ち、中央へ。  
ほぼ同時に忠治も中央へ。

○Side 『B』 Act. 4 scene. 3

義樹 え？ 忠じゃーん！

忠治 おお義樹！ え？ なにここで飲んだの？

義樹 そうそう。

忠治 うわーすげー久しぶりだ。大学卒業以来だから6年ぶりか。

義樹 そうだね。

忠治 え？ 今何やってんの？

義樹 まだフリーターだよ。小説家志望でさ。

忠治 すげーな！。まだ続けてるのか！

義樹 すごくないよ。そっちは？

忠治 ああ、俺は普通の営業職だよ。

義樹 あ、そうだ！ お前結婚式呼べよ！

忠治 ああ、ごめんごめん。ハワイで身内だけでやったからさ。

義樹 え？ そうなの？

忠治 あんまり会社の人呼びたくなかったんだよねー。

義樹 昔っからそういうの嫌いだもんな。

忠治 そうだよ、そんな俺がバリバリ人に気い使いまくって営業やってるなんて不思議でしょうがねえよ！

義樹 そうだよ。お前なんてほぼ全部の授業、俺に代返させて過去問も全部俺からもらってたようなやつじゃん！ あの頃なら絶対俺の方が営業向いてたな！。

忠治 いや、ほんと。逆だよ逆！

無声で話し続ける2人。

○Side 『B』 Act. 4 scene. 4

【照明…下手】

礼実 ゲロさせるなら、ウチ扇谷ってやつが狙い目だと思っただよねー。

仁花 それは？

礼実 なんかアホっぽいし、あいっただけ講義とかしないからさー。よくわかんないけど踊ってるのと、忍葉さんに名前間違われて長々とツッコんでるイメージしかないわ。

仁花 どういうイメージですかそれ。

礼実 だって本当なんでもーん。

○Side 『B』 Act. 4 scene. 5

【照明…中央】

義樹 そっちもチャンプルー？

忠治 何だ流行ってるのか？

義樹 いや今丁度勧誘受けてたんだけど、怖いよ。もうなんか別人になっちゃってるみたいで。

忠治 確かに俺の同期も別人みたいになってたな。

義樹 でも、な。すごいネガティブなやつがすごいポジティブになったりしてるから、いいことな気もしちゃってるんだよなー。

忠治 それだな。確かめた方がいい。やってることは正しくても、それで金をむしりとってるんだとしたら、それは悪だろ？

義樹 でもどうする？ その変わった人が昔みたいに戻ったら？

忠治 ……一度変わったんだ。また変わるだろ？

義樹 相変わらず樂觀的だな。

忠治 そうか？

義樹 俺はなんかムズムズするよ。

忠治 ムズムズ？

義樹 こんなタイミングよくお前と会ったことも、たまたま2人ともチャンプ



ルーに巻き込まれてることも。

忠治 ラッキーだろ？

義樹 まるで誰かの頭の中にいるみたい。

忠治 え？

義樹 前に大塚が言ってたんだ。

無声で話し続ける2人。

○Side 『B』 Act. 4 scene. 6

【照明・地明かり】

礼実 だからー、こうだって。だっふんだ！

仁花 違いますよ。こうですって。だっふんだ！

礼実 いやいやだって、♪変なおじさんだから、変なおじさん。変なおじさんだから、変なおじさん。変なおじさんだから、変なおじさん。だっふんだ！

仁花 そこから違いますよ！ いいですか？ ♪変なおじさんだから、変なお

じさん。変なおじさんだから、変なおじさん。変なおじさんだから、変なお  
じさん。だっふんだ！ です！ いいですか？ （礼実を真似て）だっふん  
だ！ じゃなくてだっふんだ！ なんですよ。

忠治、義樹下手に移動。

忠治 （仁花を遮って）何やってんだお前！

仁花 いや、あの、踊りの話からちよっと脱線に脱線してなんか正しい「だっ  
ふんだ」の話になりました……。

忠治 なんだそれ？

仁花 なんだそれとか言われると答えられないと言いますか。

忠治 まあ、よくわかんないけど、とにかく仲間が増えたよ。

礼実 仲間？

忠治 俺の大学時代の同級生で長尾義樹って言います。彼もチャンプルーに友

人が巻き込まれてて。

礼実 へー。

忠治 ちょっとここで話すのも何ですし、パソコンとかも使いたいで、インワードに行きましょう。この時間なら人もいないですし。

義樹 この時間に出社ってブラックだな。

忠治 そういう話じゃないだろ？ さ、行きましょう。

義樹 えー、ちなみにですけどね。お2人とも間違ってますよ。

礼実・仁花 え？

義樹 正しいだっふんではこうです！ ♪変なおじさんだから、変なおじさん。

変なおじさんだから、変なおじさん。変なおじさんだから、変なおじさん。

だっふんだ！

【音響・SE ガッシャーン ↓ BGM F・I】

【照明・夜】

全員、去る。

同時に上手から信乃と戌孝が出てくる。

## ○Side『C』 Act. 3 scene. 1

夜道。

信乃 まずは詩をまた書いてみようと思うんです。そこから徐々に広げていって。

戌孝 古屋さんみたいに？

信乃 はい。

戌孝 俺は芸術方面は今まで何にもやってこなかったからアレだけど、まあこれでも、一応6年は営業やってたわけだし、それを活かしてさ、チャンネルに所属してるアーティストをもっと世の中に広めていこうって思ってるんだよね。広報みたいな？ それがうまくいけば忍葉さんや畏齋さんも認めてくれると思うんだ。

信乃 それはすごい、いいと思います！

戌孝 だから信乃ちゃんが作品をつくったら俺にも見せて欲しいな。

信乃 はい！  
戌孝 あ、そうそう、信乃ちゃん、この後時間ある？  
信乃 え？  
戌孝 飯でもどうかなーって思ってたさ。  
信乃 あ、すいません。この後予定がありました。  
戌孝 そっか。  
信乃 また今度、ぜひお願いします。  
戌孝 うん。また。  
信乃 じゃあ私、こっちなので。  
戌孝 ああ、うん。また。

信乃、上手に去る。

【音響…BGM F・O】

戌孝、下手へ去ろうとして、戻ってくる。  
スマホを取り出し、上手へ去る。

【音響…BGM F・I】

信乃、上手から下手へ移動する。  
その後をついて行く戌孝。  
信乃が下手に去り、戌孝も下手に去ろうとしたところで、咲智が現れる。

【音響…BGM C・O】

○Side『C』 Act. 3 scene. 2

戌孝 ああ、さっちゃん。  
咲智 何してるんですか？ 戌孝さん。  
戌孝 いや、別に。  
咲智 信乃先輩ならあっちに行きましたよ。  
戌孝 え？ いや、俺は。  
咲智 この前言われました。好きなものがあれば成功しなくても人生が楽しい  
みたいなこと。  
戌孝 え？

咲智 だからこの人は脇役のままなんだなーって思いました。でも。  
戌孝 何の話？

咲智 じゃあ私は主人公になれてるんでしょうか。ねえ、戌孝さんは主人公になれてますか？

戌孝 うーん、あ、でも、ラッキースケベあったしな。

咲智 ラッキースケベ？

戌孝 いや、何でもない。なれてるかわかんないけど、なろうっていう努力はしようと思ってるよ。

咲智 戌孝さんは主人公にはなれないと思います。

戌孝 何でそんなこと。

咲智 じゃあ私と一緒に来てください。

戌孝 え？ どういうこと？

咲智、戌孝の手を引っ張って去る。

戌孝 ちよつとちよつと！ どういうこと？

咲智、戌孝、去る。

○Side』C』 Act. 3 scene. 3

【照明…上手】

上手からバスローブを着た信乃と古屋が出てくる。

古屋、信乃を色々触りながら話す。

古屋 あー疲れた。枯れた。俺のチンチンもしなしなだー。

信乃 絶対嘘ですよねー！

古屋 そう、うっそー。人間って疲れると性欲高まるらしいナリからなー。

信乃 そうなんですか？

古屋 本能なんだってサー！

信乃 古屋さんって本能で生きてそうですもんね。

古屋 確かめてみる？(信乃の手を自分の股間を持って行く。)

信乃 え？  
古屋 どう？  
信乃 すごい元気です。  
古屋 でしょ？ じゃあ舐めてよ。  
信乃 ……はい。

【音響…BGM テクノ系 F・I】

【照明…転がしフラッシュ】

古屋、客席に背中を見せて座り、股を広げる。  
信乃、古屋の股間を舐める仕草。

## ○ S i d e 『 C 』 A c t . 3 s c e n e . 4

咲智、戊孝、出てくる。

【照明…下手】

戊孝 あああああああああああああああああああああああああああああああああ！  
咲智 このホテルサルタは悌さんが頻繁に利用するホテルです。何でもまだ売れる前にここでバイトしてたことがあるとか。それ以来割引がきくとかで毎回再利用してるらしいです。戊孝さんもいい年なんだからわかりますよね？ ねえ、男女がラブホテルに入ってることなんて決めてますよね？  
戊孝 あああああああああああああああああああああああああああああああ！  
咲智 元々、信乃先輩は悌さんに憧れがあったんですよ。同じ大学の学部の成功者で尊敬してた。だからチャンプルーにも興味を持った。どうですか？ 戊孝さん、これでもあなたは主人公ですか？ ねえ主人公ですか！  
戊孝 あ、あああ。  
咲智 遅かれ早かれわかったことです。今わかってよかったですね戊孝さん。  
戊孝 う、ううう。何で？  
咲智 何で？ 何で戊孝さんをここに連れてきたかってことですか？ 同じだと思っただからですかねー。戊孝さんと私が！ ねえ、戊孝さん！ 戊孝さん  
もらってないですよね？  
戊孝 え？ 何を？

咲智 忍葉さんの！ 名刺！ もらってないですよ？  
戌孝 名刺……。もらってない。

咲智 変わらないんです！ 私も戌孝さんも！ 負け犬は負け犬のままなんで  
すよ！

戌孝 ……。

古屋 あー、あー、イク。（信乃の頭を押さえつけて。）

信乃 ん。

古屋 飲んで。

信乃 ん。

古屋 俺の魂だから、それ。受け取って。飲み干して？

信乃 うん。（飲み込む動作。）

古屋 はい、あーん。

信乃、口を開ける。

古屋 よく出来ました。（頭を撫でて）

信乃 はい。

古屋 さーっってお風呂に入ろう。♪いい湯だな。あははーん。いい湯だな、

あははん。（去ろうとする。）

信乃 あの！

古屋 なーに？

信乃 ……今日も、最後までしてくれないんですか？

古屋、黙って信乃を抱きしめる。

古屋 また今度ね。さ、お風呂に入る。

古屋、信乃の手を引いて去る。

【音響…BGM テクノ系 F・O】

戌孝 ああああああああああああああああああああああああああああああああ！

戌孝、走って去る。

咲智 逃げてどうするんですか。

○Side『C』 Act. 3 scene. 5

咲智、上手に移動。

【照明・上手】

古屋が現れる。リコーダーを持っている。

古屋 いやー、待たせてごめんね。

咲智 いえ。

古屋 あれ？ なんか元気ない？

咲智 まあ。どうしたんですか？ それ。

古屋 ああ、原点だと思わない？ リコーダーってさあ。初めて習う楽器でし

よ？ でもそれを追求する人ってあんまりいないよね？ って話。じゃあ俺

がやってみちやおうかなーってさ。

咲智 そうですね。

古屋 あれ？ さっちーなんか反応薄いねー。アチキ寂しいわ！ アチキ寂し

い！（リコーダーを股間にあてて）ねーねー、これで一曲吹いてみてよ？

ねーねー。

咲智 倅さんは、絵を描いてて楽しいですか？

古屋 え？

咲智 絵を描き続ける人生じゃダメだったんですか？

古屋 ……才能の分散ナリよー。

咲智 絵では絶対勝てないと思った人でもいたんですか？

古屋 あ？

咲智 倅さんは自分の才能に絶望したことないんですか？

古屋 何だ急に？

咲智 だから色んなものに手を出すんじゃないですか？ どんどん絵から逃げ

ようとしてるんじゃないですか？

古屋、咲智に掴み掛り殴ろうとする。

咲智 殴っていいですよ？

古屋 あ？

咲智 私、自分のこと諦めてるんで。だから悌さんみたいな才能ある人のストレス解消になるなら、私、それでいいと思います。

古屋 何言ってるんだお前？

咲智 悌さんが本音でぶつかれる相手になれるなら、それでいいと思ってます。

古屋、掴みかかった手を放す。

咲智 私じゃダメなんですか？ 私じゃ悌さんの本音はぶつけてもらえないんですか？

古屋 うるせーな。

咲智 あーの！

古屋 はい！ おしまいおしまいおしまいマイケル！ 今日はおもうおしまい。閉店ガラガラ！ わお！ さよならさよならさよならさよならクロール。(咲智を連れて行きながら。)

咲智 誤魔化さないてください！

古屋 帰れつつってんだよ。分かれ。

古屋、咲智、去る。

○Side『C』 Act. 4 scene. 1

【照明・夜】

人気のない路上。

戌孝、ストロングゼロを持ってフラフラと入ってくる。

嘔吐し、うづくまる。

忍葉と畏齋が入ってくる。

忍葉 大丈夫ですか？



戊孝 大丈夫に見えますか？

忍葉 どうしたんですか？ これでは逆戻りですよ。

戊孝 いいですよ、もう。

忍葉 どうしてです？

畏齋 諦めんなよ！

戊孝 え？

畏齋 諦めたら主人公になれないぞ！

戊孝 主人公。

畏齋 もしもこの世が漫画の世界だとして、主人公は諦めるか？ 諦めないだ

ろ？ 僕だって、占星術の師匠から破門されて、別のやつが師匠の後継ぐこ

とになって、そりゃ絶望したさ、絶望したけど、今こうして何とかやってき

てんだ！ そうして最近客も増え始めて、ようやく自分の人生の主役になれ

そうな気がしてんだよ！ だから続けてみろって！

忍葉 大宮……。

畏齋 忍葉さん、僕、扇谷です！ 大宮だと中山道宿場町の一つである大宮宿

を起源とし、中心部には鉄道交通の要衝となっている大宮駅があり、商業施

設やオフィスビルが集積する埼玉県さいたま市の大宮になっちゃいますよ！

忍葉 そう。

畏齋 真面目な話の流れでぶち込まないてくださいよ。

忍葉 今諦めてしまっても、それはあなたの人生ですから止めはしませんが、

せつかくここまで頑張ってきた努力を無下にしてしまうのは勿体無いとは思

います。

戊孝 じゃあ何で！

忍葉 え？

戊孝 何で名刺くれなかったんですか？ それは俺が才能がないって言ってる

ようなもんでしよう？ あなたはみんな平等みたいな感じで接してきながら、

実際は使える人材とそうでない人材を選別してるんだ！

畏齋 じゃあなればいいだろ！ 使える人材とやらに！ 何のためにセミナー

受けてんだよ！ 活かせよ！ 学んだことを活かせよ！ 道筋つくってくれ

てるじゃんか！

戊孝 ……。

忍葉 扇谷、車。

畏齋 (嬉しそうに) はい！ ただいま！

畏齋、スキップで去ろうとする。

一瞬去り、すぐに義樹に羽交い締めになされて戻ってくる。

続いて仁花、忠治、礼実が出てくる。

○Side 『C』 Act. 4 scene. 2

忍葉 扇谷！

畏齋 すいません忍葉さん。

仁花 大丈夫ですか戌孝さん！

戌孝 市川？

礼実 (前に出て) さあ、悪の親玉！ チャンプルーの椿忍葉！ ここのお花茶屋を返して欲しかったら全て話しちやいなさい！

畏齋 僕、扇谷です！ お花茶屋じゃ東京都葛飾区中部にある町名になっちゃ

いますよ！

礼実 よし！ ウチはもう満足した。(下がる。)

仁花 それだけかよ！

礼実 やりたかったんだー名前間違い。ウチでもちゃんと返してくれんのねー。ウケるー。

忠治 チャンプルーさん、もう結城を巻き込むのはやめてください。

礼実 そうだ！ やめる！ 【音響・BGM F・I】

忍葉 巻き込む？ 何をおっしゃっているのでしょうか？ 万有引力の発見者アイザック・ニュートンは言いました。「人間は事実を反することを想像してもよいが、事実しか理解することはできない。事実を反することを理解したとしても、その理解は間違っている。」と。あなた方は何か事実を誤解しています。彼は自らの意思で我々と共にあるうとしているのです。

義樹 そうやって、都合のいい言葉を適当に引用して、チャンプルーだとか言っでごまかしてるだけだ！ 自分がない！ そんなの洗脳だ！

畏齋 洗脳なんかじゃない！ 僕たちは自分の意思で考えて動いてる！ なあ！ そうだろ？

戌孝 忠治！

忠治 何だ？

戊孝 俺はな！ お前みたいに才能がないんだよ！ 特技すらない！ ちよつと好きになつた人ともうまくいかない！ 人生でこれみたいな成功体験もない！ 何にもできねえんだ！ それが！ 少し頑張ってみようって思うことの何がいけないんだよ！

忠治 間違つてない！ 俺だって頑張ろうとしているお前を応援したい！ 俺も同じだ！ 俺にだって才能なんてない！ ただ今回のお前は、やり方が間違つてただけだ！

戊孝 はいはい出た出た！ お前らはいつだつてそう言うよな！ 成功者はいつもよ！ 自分に才能なんてなかったから頑張りました！ は？ 嘘じゃない！ 才能あるじゃん！ 成功してるじゃん！ お前らの才能ないってのはな！ 才能ある奴らの中で比較的才能が少なめってだけで才能あるんだよ！ ありよりのなしなんだよ！ 本当に何もなしの奴の気持ち考えろよ！ なしよりのなしのやつ気持ち考えろ！ 同じこととして成功できねえんだよ！ 同じことじゃなくてもいいわ。倍やつたつて成功できねえんだよ！ ずーっと一生！ 俺は負け犬なんだよ！

義樹 成功成功ってそんなに成功って大事かな？

戊孝 大事だろ？ 世の中を動かすのは常に勝者だ！ 成功者だ！ 自分の人生の主人公を自分にできるやつはそういう奴らなんだよ！

忠治 じゃあ聞くけどさ、俺のどこが世の中動かしてるんだ？ どころへんが成功してんだ？ 勝者なんだ？ 嫁と子供ができて生活のために働くしかなくて、好きでもない営業の仕事続けて、興味もないカリスマガールアイドルのご機嫌とつて！ そんな人生のどこが勝者だ？ 主役だ？ 成功者だ？

礼実 いちおう、ツッコむよ。「おいっ！」

忠治 ああ、大変申し訳ありません。あの、これは勢いと言いますか。

礼実 いいよ。何となくわかつてたから。

仁花 それでも！ 私、前の戊孝さんの方が好きでした。

戊孝 はあ？ どういうことだよ？ 頑張ってる俺より、頑張つてない俺の方が好きってことか？

仁花 違います。でも、前の戊孝さんは、そりゃ、口を開けば、悪口とか不満ばかりだったんですけれど！ でも、自分で考えてた！ どんなにネガティブなことを言っても、ちゃんと頭使つて！ 自分の言葉で話してた！ で

も最近の戌孝さんは違う！　ずーっと誰かの借り物の言葉を使って、頭良く  
なったような気になって！　そんなの見掛け倒しで芯がなくなって全然かっこ  
よくないです！　かつこよくない！　耳障りのいい言葉並べて、そんなのが  
人生哲学なんですか？　本当の哲学って自分の頭で考えて考えて考えて考  
えた先にあるものなんじゃないんですか！　（忍葉と畏齋に）あなたたちもそう  
ですよ！　何ちゃらは言いましたとか言って！　そんなの全然すごくない！  
すごいのはその言葉を言った人たちで！　あなたたちは何にもすごくない！  
戌孝さん！　目を覚ましてくださいよ！

畏齋　何言ってるんだ！　忍葉さんはなあ！

忍葉　扇谷、いいです。【音響：BGM F・O】……あなたは彼のことが大切  
なんですね。

仁花　まあ、これでも、一応、惚れてますから！

礼実　やっぱり。

仁花　やっぱりって何ですか？

礼実　ウチ、そーゆーのピンときちやうタイプなんだよねー。

忍葉　（笑って）そうですか。（義樹に）そのあなた。扇谷を解放してあげてく  
れませんか？　そんなんですが、彼は私の大切な同志なんです。

忠治　結城を連れて行く気だろ？

忍葉　連れて行きませんよ。彼自身がついてくる気がなければ。彼のことはあ  
なた達に預けることにします。私もこれでそれなりに人生を歩んでいるもの  
ですから、そうそう考え方は変わりませんが、今回はあなたたちのような考  
え方もあるのだなど。またひとつチャンプルーさせて頂いて去ることにしま  
す。

忠治　義樹。

義樹　ああ。わかった。（畏齋を解放する。）

畏齋　くそっ！　このバカ力め！　（忍葉に向かって走って行く）忍葉さん！

忍葉　卸問屋、車。

畏齋　忍葉さん、僕、扇谷です！　卸問屋だと企業や小売業者を取引先として  
もち、委託売買の商品を取り扱っている業者になっちゃいますよ！

忍葉　車。

畏齋　はい、すみません！

仁花　待ってください！　まだ終わってませんよ！

忍葉 なに？

仁花 お金を返してください！ セミナーだか何だか知らないですけど、開催するのは自由ですよ？ でも私たちが間違ってるって言うてるのは、それで法外なお金を会員に請求してるからです！

忠治 そうですよ。調べさせてもらいました。セミナーは初回は無料だそうです。2回目以降は10万単位の金額を請求しているそうじゃないですか？

義樹 どれだけ偉そうなこと言っても、それをやっちゃあ、説得力がないんだよ！ 会員全員に金を返して警察に出頭しろ！

忍葉 何の話？

忠治 とぼけないでください！ こっちは会員からの情報も掴んでるんですよ！

畏齋 待つて待つて！ 本当に知らない！ わからない！

忍葉 そうです。そんな我々の方針に反することをするはずがありません。それこそさつきそちらの方がおっしゃったように説得力がなくなってます。

義樹 よくもいけしやあしやあと！ 往生際が悪いぞ！

仁花 そうですよ！ 戌孝さん！ 証言しちゃってください！ こいつらに金むしり取られてたって！

戌孝 ……。

仁花 戌孝さん！

戌孝 ……古屋だ。【音響…BGM F・I】

仁花 え？

戌孝 古屋が、あいつが、俺がチャンプルの経理・会計係だからとか言って。

それで……。俺、金を毎回古屋に。

畏齋 古屋さんが？

忍葉 古屋が、そんな……。

畏齋 そうですよ！ だってそもそもチャンプルの立ち上げの話は古屋さんが難病から奇跡的に退院した忍葉さんに声をかけたことから始まったんですよ。

忠治 ……読めたな。

仁花 古屋悌が全部、全員騙してたってことですね。

戌孝 あいつ……それで信乃ちゃんも。

仁花 え？

戊孝 いや、何でもない。

忠治 で。結城、結城の考えを聞きたいんだけど。どうする？

戊孝 ……お前にも市川にも言いたいことは山ほどあるけど、そんなもん全部置いといて、どうしてもやりたいことが1つある。

忠治 それは？

戊孝 復讐だよ！ あのエセマルチャーティスト野郎を一発ぶん殴ってやんないと気が済まないってんだよ！ 何だあいつ！ 偉そうにぺちやくちやぺちやくちや喋りやがって！ 中身空っぽのスカスカ詐欺野郎じゃねえかよ！ 見た目のまんまじゃねえかよ！ 逆に騙されたじゃねえか！ あー本当にすごいやつはやっぱぶっ飛んでんだなーとか、服装から違うんだなーとか思っちゃったじゃねえか！ 見た目のまんまクズじゃねえか！ くそが！ あー、もう一度言うぞ！ くそが！

仁花 おお、ものすごい悪い顔してます戊孝さん。不満爆発って感じです。

戊孝 うるせーな！ さっき言ってただろ？ こーゆー俺の方がいいんだろ？

仁花 はい！

忠治 そうと決まれば作戦会議だ！ みなさん、協力してくださいませね？

以下、忠治に戊孝以外が集まっていく。そこに乗り遅れる戊孝。

忍葉 仕方ありません。同志の尻拭いは私がしなくては。

畏齋 僕は忍葉さんに従います。

礼実 乗りかかった何とやらってやつだよ。ウチも協力するよー。

義樹 俺はまだ目的を達成してないからな。引き続き頼むぜ。

仁花 でも復讐ってどうやってするんですか？ 包丁持って襲いかかるわけにも行きませんし。

忠治 大丈夫。ちょっと俺に閃きがある。一連の話を聞いてなんとなく古屋梯の弱点がわかった気がしたんだ。

仁花 本当ですか？

義樹 何だ何だ？

忠治 少し事前準備がいるな。チャンプルーの会員リストとかってありますか？

忍葉 ええ、すぐに用意できます。

忠治 よし！ そしたら、

戌孝 ちよつと待った！ 【音響…BGM C・O】

忠治 何だ？

戌孝 さっきのついでだから言うけどな！ こーゆー時にお前が仕切っちゃうのが嫌だつて話だよ！ お前が主人公みたいになるじゃんか！ 普通流れるには俺を中心に話がまとまっていくだろ？ 見てこの構図！

戌孝以外、自分たちと戌孝の配置を確認する。

戌孝 俺に疎外感を与えないでもらえますか？ そこはもう本当！ お願いです！

忠治 それは別にいいだろう！ しょうがないだろ？ 話の流れってやつじゃんか！

戌孝 それでもいやなんだー！

【音響…BGM F・I】

【照明…暗転】

○Side』C』 Act. 5 scene. 1

【音響…BGM X・F】

【照明…地明かり】

セミナー会場。

ボックスが6つ舞台前面に並んでいる。

上手から礼実、義樹、仁花、信乃、戌孝、咲智が座る。

古屋、忍葉、畏齋、中央奥にいる。

畏齋 以上で古屋梯さんの講義は終了になりますが、どなたか質問がある方いらっしゃいますでしょうか？

一斉に手をあげる義樹、仁花、戌孝。

義樹 はい！ 古屋さんの先ほどの発言なのですが、雷通のアートディレクター西園寺攻(さいおんじおさむ)氏の過去の体験と同じように感じたのですが、いかがでしょうか？

戊孝 はい！ 古屋さんのかつての同級生、あー、まだ古屋さんが今の芸名を名乗る前なんですけど、西村さんという方にお聞きしました。古屋さんが絵では絶対勝てないと思っていた人がいるというのは本当ですか？

仁花 はい！ 古屋さん程の方が美大の受験で絵が描けなくて落ちまくっていたとの話を聞いたんですが、何があつたのでしょうか？

畏齋 これはこれは、何か記者会見みたいになってしまいましたね。どうしましょう古屋さん。

手をあげ、「はい」「はい」を連呼する義樹、仁花、戊孝。

古屋 いやーさすがワタクシ。いつにも増してモテモテですなー。でも残念無念。ちよつと次の予定がありまして、ここらでドロンさせてもらいたいでやんすよ。

畏齋 みなさん申し訳ございません。質問に答えている時間がないとのこと……。

咲智 はい！

【音響：BGM C・O】

場内が静まる。

咲智 古屋さんの次の予定ってホテルサルタで、ここにいる大塚信乃さんと会うことだつて聞いたんですけど本当ですか？

信乃 え？

咲智 どうなんですか？

古屋 何を言ってるのかわかりませーん。私はこの後お仕事があります。ありますアリストテレス。

咲智 古屋さんはそうおっしゃっていますが、どうですか？ 信乃先輩！

信乃 私は、別に。



古屋 ごめんなさいねー。今は聴講者同士の質問タイムじゃナツシング、ナツシング、シングアソングなんですよー。歌いましょうか？ レツツシングアソング！

咲智 古屋さんは！ 私ともしょっちゅうホテルサルタを利用していたという情報がありますが！ というか私ですが！ その辺いかがですか？ 信乃先輩はその辺知ってたんですかねー？

信乃 え？

咲智 知らないご様子ですが！ 信乃先輩が遊びなんですか？ それとも私が遊びなんですか？

ざわつく場内。

古屋 んーと。ちょっと何言ってるかわからないなりー。柔らかいなりー。んー、その女性の方大丈夫？ 病院に連れて行ってあげた方がいいんじゃないかないでしょうか？

畏齋 これは前代未聞ですねー。どうしましうか忍葉さん。

忍葉 古屋さんには、たとえ潔白だとしても会員の方々に対して説明責任があると思いますね。

古屋 だから、忍葉さん。時間がないんですってば！

忍葉 古屋……。

そこへド派手な変装（メガネ、つけひげなど）をした忠治が客席側から入ってくる。

忠治 チャンプルーのセミナー会場はここかね？

演出家 あ、はい。

畏齋 あの、すいません。今セミナー中ですので、ここは壇上で。

忠治 私を誰だと思ってるんだ！

忍葉 扇谷！ その方は！

畏齋 え？

忍葉 グローバル日本現代詩人協会会長の谷川忠太郎さんです。

古屋 谷川忠太郎？

忍葉 あの、谷川さんがこちらへ一体なんの御用で。

忠治 ここに古屋悌という者はいるか！

古屋 ……はい。私ですが。

忠治 私を知っているよな？

古屋 はいもちろん、谷川先生の御高名は存じ上げております。

忠治 お前か！ 私の作品を盗作したのは！

古屋 え？ はい？ すいません、なんのことでしょう？

忠治 (スマホを取り出し)これだよこれ！ 東郷美大生の制作したこの天井から文字が吊るされている詩！ どう見ても私のパクリじゃないか！

古屋 いえ、決してそのような事実は。

忠治 (スマホを操作し) 見ろ！ こっちが私の作品だ！ 協会に提出したのも3年前だ！

古屋 いや、そんな……これは。

忠治 これはなんだ！

古屋 私じゃないです。

忠治 何？

古屋 この詩を書いたのは、私ではないです。

忠治 どういうことだ？

古屋 この作品はそこにいる東郷美大生の朝来野咲智の作品です。私は名前を貸しただけです。おそらく彼女が勝手に詩の盗作を。

咲智 私、そんなことしてません！

古屋 お前しかいねえだろーがよ！ 俺はこんな詩を書いた覚えはねえんだよ！

咲智 そうですか。

戌孝 聞きましたか？ 見ましたか皆さん！ この古屋という男の卑劣さ、下劣さを！ ひとたび自分の立場が危うくなれば、会員の方を簡単に陥れる狡猾さを！

古屋 なんだ？

戌孝 忠治！

忠治 はいよ。(変装を外す忠治。)

古屋 どういうことだ？

戌孝 いないんですよ。グローバル日本現代詩人協会会長の谷川忠太郎なんて

奴はね！ 勉強不足だなーマルチアーティストさんよお！ 何が御高名は存じ上げておりますだ！ 墓穴掘ったな！ バカ野郎が！ さーて、ここらでみなさんご唱和ください！ セーの！

古屋、信乃以外 テツテレー！ ドツキリでした！

古屋 は？ なに？ どーゆーことだよ？ 【音響…BGM 月光 F・I】

忍葉 あなたの悪事は全てバレているんですよ。

古屋 え？ は？ 忍葉さん？

忍葉 そしてあなたは今自らの底の浅さを露呈しました。セミナーの様子も撮影されています。今後二度と誰一人としてあなたについて行くことはないでしょう。マザー・テレサは言いました。「思考に気をつけない、それはいつか言葉になるから。言葉に気をつけない、それはいつか行動になるから。行動に気をつけない、それはいつか習慣になるから。習慣に気をつけない、それはいつか性格になるから。性格に気をつけない、それはいつか運命になるから。」と。あなたはその思考故、自らの運命までもを滅ぼしてしまつたのです。会員の方々からあなたが勝手に徴収していたお金も、この後、法的手続きを持って対応させていただきます。今日と言う日は、マルチアーティスト古屋悝、最期の日です。

古屋 ……（笑つて）なるほどねーん。

畏齋 なんだ？ もう言い逃れはできないぞ！

古屋（客席に向かって）皆さん、今までおバカでいてくれてありがとうございます！ おかげさまで私は、たくさんのお贅沢と少しの成功と、歴史に少しだけ名を刻む榮譽を手に入れることができました。みなさんはこれでチャンプルーという生きる指針をなくしました。自分を受け入れる？ 弱い自分を認める？ 少しでもできたことをほめてあげる？ 楽しければいい？ 他人と比べるな？ 妥協妥協妥協妥協！ そんなものは現状への妥協だ！ そんなものは勝者が敗者を都合よく管理・搾取するためにつくつた言い訳の理論だ！ そんな理論に言いくるめられてきたあなた方はこれから一生負け犬として生きて行くことになるかと思いますが、皆さまよき負け犬人生を！ それではご静聴ありがとうございます！ さようなら！ ばいばいきーん！

古屋、去ろうとする。

【音響…BGM 月光 F・O】

戌孝、それを捕まえて、殴る。

【音響・BGM 歓喜の歌 F・I】

古屋 いったー。

戌孝 お前にな！ 一個だけ教えといてやるよ！

古屋 何？

戌孝 結城戌孝は言いました！ 「負け犬だって、吠えることくらいはできるんだぜ！」 ってな！

古屋 ……少年漫画の主人公みたいなくさい台詞と展開してんじゃねえよ。いか現実ではそれを「負け犬の遠吠え」って言うんだよ。そうだ、俺も一個教えてあげるよ。今、キミ、すごいヒーローみたいに振る舞ってるけど、それって「アンダードッグ効果」に過ぎないから！ 残念！

戌孝 そんな効果は知らん！ 初めて聞いた！

古屋 幸せだね。

古屋、去ろうとする。

前に信乃が立ちふさがる。

古屋 あれー。俺にもアンダードッグ効果かな？

信乃、古屋をビンタする。

ビンタされ倒れる古屋。

古屋に唾をかける信乃。

信乃 なんかい、私ー、思い出したんですけどー。私ってそういえばめっちゃ性格悪かったわ！ アンダードッグ効果？ あれだろ？ 不利だと言われている人、要するに弱者に対する同情でひいきがおきて最終的に弱者が勝つやつだろ？ ふざけんなよ？ お前のどこに同情の要素があるんだよ？ そもそももなあ、成功者じゃなくなったお前なんかに興味ないわ！ わかる？ お前の人間的な魅力っていうのはゼロなわけ！ 私が好きだったのは、お前のスキルでありパフォーマンスだから！ それ以外に好きになる要素ないから！ それ失ったあんたについて行くなんて、あり得ないっつーの！ 自意識過剰

が過ぎんだよ！ 負け犬？ はいはいはいはい。負け犬上等だわ！ 負け犬に唾吐きかけられてるお前は一体なんでしょうね？ 負け犬以下って何？ ミジンコですかー？ ミドリムシですかー？ それならこっちもありがとうございましてすわ！ 自分より下の人間なんてそうそういないと思ってましたけども！ 今日、今、ここで、こんなにも自分より低い人間の存在を知ることができて、私はこれから強く生きていけそうです！ 楽しい思い出がありがとなゴミムシ野郎！ 私も戌孝さんみたいに負け犬としてこれからもこうやって吠えながら生きていこうと思いますー！ まる！

間。

【音響・BGM 歓喜の歌 F・O】

古屋 君ってそーゆー女の子だったのね。

信乃 悪い？

古屋 いや、今の方が好みだよ。

信乃 きも。

古屋 はは。

古屋、去ろうとする。

礼実が立ちふさがる。

古屋 え？ なんで？

礼実 気分！

礼実、古屋をビンタする。

古屋 えー。俺、あなたに何もしてないですよ？

礼実 だから気分！

礼実、下がる。

古屋、去ろうとする。

咲智が立ちふさがる。

古屋 おいおいおいおい四連続は勘弁してくれよー。

咲智 私は、ついて生きてますよ。

古屋 は？

咲智 私は悌さんについていきますよ。

古屋 お前が黒幕みたいなもんじゃないのかよ。

咲智 それはそれ。これはこれです。

古屋 ……昔っから、女ってのはよくわかんねーなー。…あー、そうそう忍

葉さん！

忍葉 なに？

古屋 こっから先は弁護士たてっから。全部そいつ通してもらえる？ もう顔

合わせたくないだろ？ 俺も、あんたも。

忍葉 最後の心遣い感謝します。私もあなたに出会えたから変わった部分もある。それは、感謝してます。

古屋 へっ。

古屋、咲智、去る。

ざわつく場内。

義樹 俺たちの勝利って感じか？

礼実 でもよくあいつの弱点わかったねー。

忠治 まあ女関係でなんかありそうなのは見た目からの勘なんですけど。でも、

偉人たちの言葉を引用したりする忍葉さん、つまりチャンプルーに植え付けていった古屋の根本思想の弱点は、「権威に弱い」ってことです。だからありもしないグローバル日本現代詩人協会会長なんて大層な肩書に騙されて馬脚を現した。チャンプルー会員で女関係と古屋が関与した作品がないか洗ったら、まさかこんなにごんぴしゃな子がいて、しかも作戦に協力的とは、俺たちもついてるよな。

戌孝 だから！ その解説止めろ！ 主人公感あるだろ！

忠治 俺の作戦なんだからいいだろ？

戌孝 半分くらい手柄くれたっていいじゃないか！

忠治 なんだそれ。

信乃 あのと、戌孝さん。

戌孝 あ、ああ、はい。

信乃 すいません。なんか、ありがとうございました。

戌孝 あ、いや、私怨を撒き散らしただけのようなもので……。

信乃 「負け犬だって、吠えることくらいはできるんだぜ！」って、私、忘れません。

戌孝 あはは。勢いって恐ろしいですね。

信乃 いえ、かっこよかったです。

戌孝 あの！

信乃 はい。

戌孝 もしよかったら、今度ご飯でも……行かねーわな。行かねーよ！ 信乃

ちゃんとはご飯なんか行かない！ だって信乃ちゃん超怖いもん！ 超性格

ブスだもん！ 無理無理無理無理。

信乃 （笑って）そうですか。私もそう思います。じゃあまた、会うことがあれば。

戌孝 そうですね。忠治。市川ー。そんなじゃあ、ま、打ち上げってことで、飲みにも行きますかー。

忠治 いつも感じだな。

仁花 そうしましょ。

戌孝 それが俺には似合ってるわ。

仁花 そういうことです。つまり戌孝さんとお似合いなのは、私です。

戌孝 言ってる！

礼実 ねーねー忠くん。それウチも行っていいー？

忠治 はい！ もちろん！

礼実 つーか、なんかさ、みんなの話聞いてて、ウチマジで思ったんだけどさー。この中で一番の勝者って、ウチじゃね？

仁花 ははは。確かにそうですねー。さすが礼実さん。

信乃 あ、じゃあ長尾さん。ご飯でもいけますか。

義樹 じゃあって何？ なあ、今お前完全に俺のこと忘れてたよね？

信乃 「忘却はよりよき前進を生む。」ってことですね。

義樹 お前それまだネタにできる程時間立ってないからな！

信乃 それを決めるのは私ですから。

義樹 ……大丈夫かよ。

信乃 大丈夫じゃないです。

義樹 へ？

信乃 (笑って)大丈夫じゃないのが私の普通なんで。

義樹 そうですか。

畏齋 さつて、こつからが大変ですな忍葉さん。

忍葉 あなたは私と一緒に来ないっていう選択もできるのよ。

畏齋 そうですねー。でも、ま、今回程度のことじゃその選択は先送りですね。

忍葉 今回程度つて、今回みたいなの一生あつてたまるかって話よ。

畏齋 だから、そういうことです。

忍葉 あつそ。オスチャ、私の先行き占つて。

畏齋 忍葉さん、僕、扇谷です！ オスチャだと……オスチャ？ オスチャつ

て何？ オスチャ？(スマホで調べる)オスチャだとカトリック教会で聖別さ

れたパンになっちゃいますよー！ つて最後なのに難問すぎませんか？

忍葉 占い。

畏齋 はい！ すいません！ え？ 占いですか？

忍葉 そう、私を占つて。

畏齋 ……はい！

忠治 これからどうすんだお前？

戌孝 さあな。お先真つ暗だよ。

仁花 その割にはさっぱりした顔してますね。

戌孝 まあなー。なんか、負け犬でも悪くないかなーつて思ってたんだろうなー。

【音響…応援ソング】

【照明…三色チェイス】

登場人物が全員出てきて踊る。

【照明…溶暗】

○E n d - - n g

突如、客席方向から演出家の声。



演出家　でも！

【照明…レッド】

演出家、舞台上にあがる。

演出家　でも、お前も俺（私）の作品の登場人物じゃん。

【音響…ジンギスカン　F・I】

【照明…三色チェイス】

戌孝以外の登場人物、演出家を囲み、ジンギスカンを踊る。  
踊りながら吊るされた文字たちが破壊されていく。  
立ちすくむ演出家と戌孝。

演出家　嫌いなんだよねー。キャンプファイヤー。

幕が閉じていく。

戌孝、客席を向く。

戌孝　これにて〇〇（劇団名）第〇回公演「負け犬だけど生きていいですか？」  
を終わります！　みなさま本日はご来場誠にありがとうございました！

文字を破壊し、踊り続ける登場人物たち。  
幕が閉じる。

【音響…BGM　X・F】

END.